資　料　２

第１回専門部会（まちづくり・防災）
事務局資料②

第１回専門部会　議題

（１）前半分野（防災/治安/公園・緑地/地域力）

・現状と課題について
（伸ばすべき強みや特に対応が必要な課題等）

・重要となる施策やその先の将来像について

（2）後半分野（人口/交通/住まい/DX/自治体経営）

・現状と課題について
（伸ばすべき強みや特に対応が必要な課題等）

・重要となる施策やその先の将来像について

（2）後半分野（人口/交通/住まい/DX/自治体経営）

データブック対応ページ

まちづくり・防災部会　データブック対応ページ

章	分野名	ページ
2章 大田区のこれまで（15年間の変化や区の現状等）	人口	P.8
	防災	P.20
	治安	P.22
	交通	P.24
	公園・緑地	P.26
	住まい	p.28
	地域力	P.30
	DX	P.40
	自治体経営	P.42
	ホットトピック等（羽田空港・羽田イノベーションシティ・新空港線・SDGs）	P.44
3章 大田区のこれから（将来推計等）	人口推計	P.50
	DX	P.54
	地球温暖化	P.56
	地震・水害・噴火等の災害リスク	P.58
	鉄道沿線のまちづくり	P.60
	リニア中央新幹線	P.61
	公共施設・インフラ施設	P.62

章	分野名	ページ
4章 大田区の特徴・強み、現状・課題	大田区ってどんなまち？	P.64
	人口	P.66
	防災	P.69
	治安	P.70
	交通	P.70
	公園・緑地	P.71
	住まい	P.71
	地域力	p.72
	DX	P.74
	自治体経営	P.75

※後半分野（人口/交通/住まい/DX/自治体経営）関連ページを色掛け

データブック：P.8

1 人口

15年間で総人口は増加したが、65歳以上の老年人口割合が上昇する一方で、14歳以下の年少人口割合は減少し、少子高齢化が進んでいる。

■増加傾向にあった総人口は、新型コロナの影響で2020年からは減少に転じた。また、高齢化率が上昇する一方で、年少人口比率は減少しており、少子高齢化が進んでいる。

■合計特殊出生率は、2015年をピークに減少傾向にある。

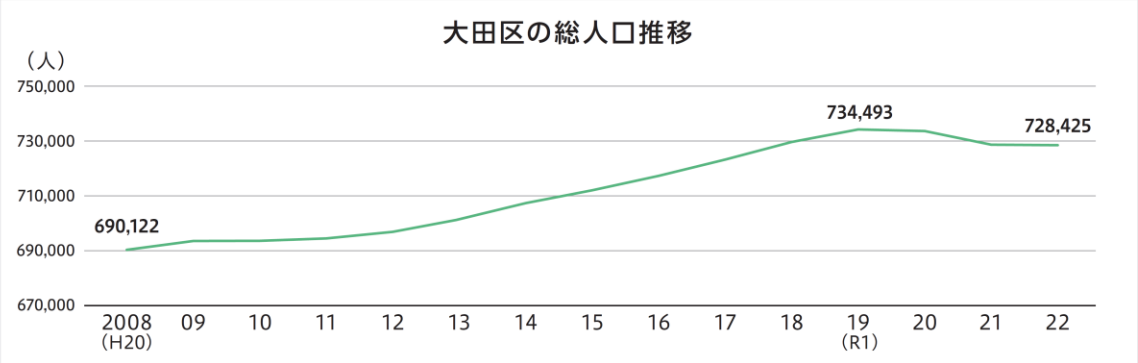
■2010年は35～39歳の人口が最も多かったが、2020年には45～49歳が最多であり、年齢構成の比重が高齢寄りに変化している。

■年齢別に転出入の増減を比較すると、20～24歳は転入超過だが、子育て世帯を含む0～4歳及び30～39歳は大きく転出超過となっている。23区の中で、大田区は0～4歳の転出超過数が最も多くなっている。

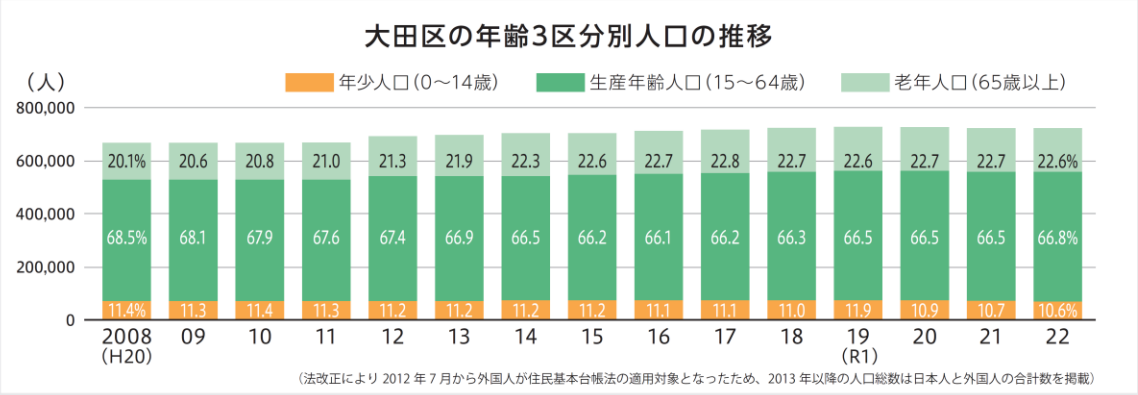
人口は増加傾向だが、少子高齢化が進行している

◎大田区の総人口は2019年までは増加傾向にあった。新型コロナの影響で2020年からは人口減少に転じたが、減少のペースは緩やかになっている。

◎15年間で高齢化率が増加した一方で、年少人口比率は減少しており、少子高齢化が進んでいる。



（資料）区住民基本台帳データを基に大田区作成

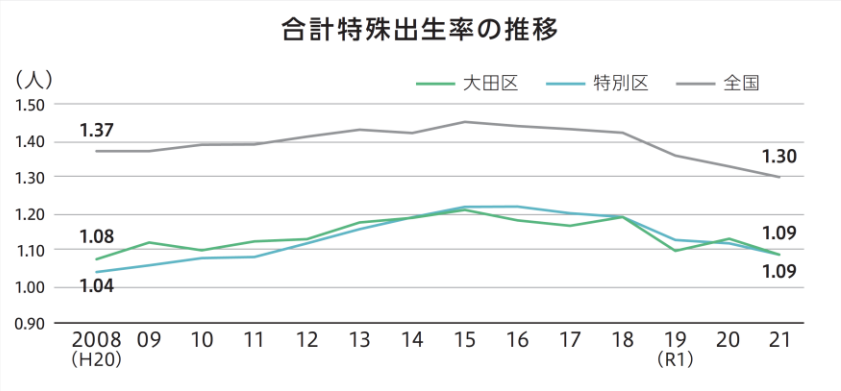


（資料）区住民基本台帳データを基に大田区作成

データブック：P.9

合計特殊出生率は2015年をピークに減少傾向

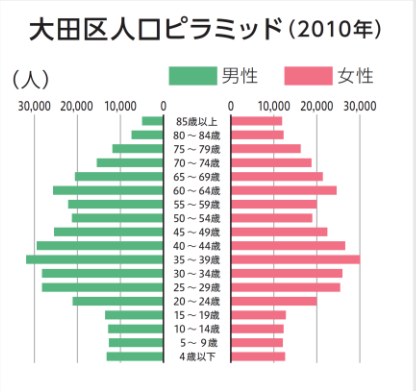
◎大田区の合計特殊出生率は、2015年をピークに減少傾向にある。また、その水準は特別区平均と同水準で推移している。

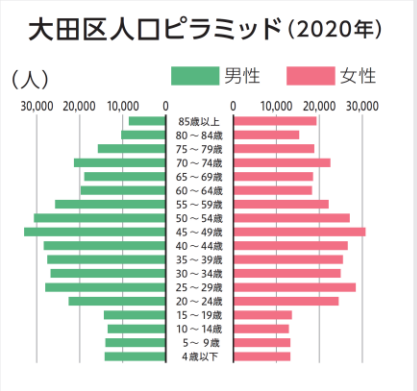


（資料）東京都福祉保健局総務部総務課統計調査担当「人口動態統計 年次推移（区市町村別）」を基に作成

2010年からの10年間で人口ピラミッドの重心は上昇

◎2010年は35～39歳、2020年には45～49歳が最多であり、年齢構成の比重が高齢寄りに変化している。

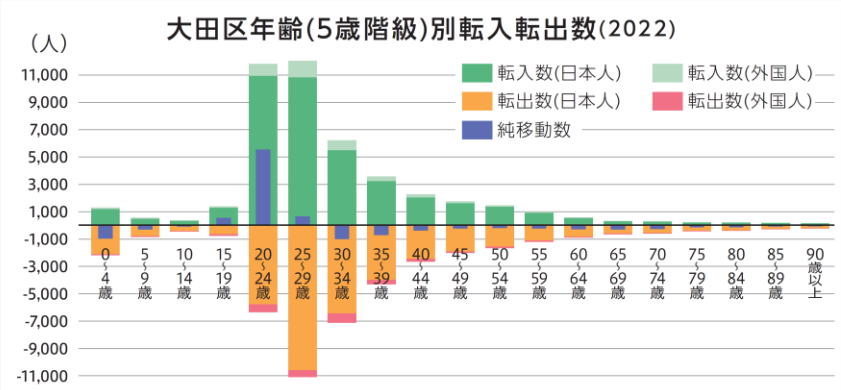




（資料）総務省「国勢調査」を基に作成

20～24歳は転入超過だが、子育て世帯は転出超過がうかがえる

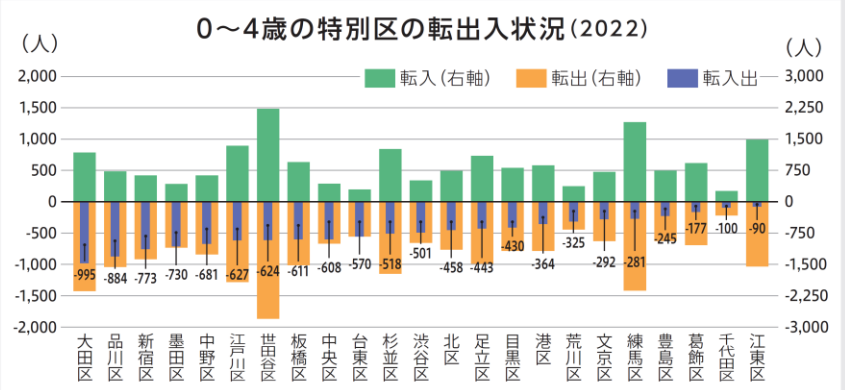
◎20～24歳は転入超過となっているが、子育て世帯を含む0～4歳及び30～39歳は大きく転出超過となっている。



（資料）総務省「住民基本台帳人口移動報告」を基に作成

大田区は23区の中で0～4歳の転出超過数が最も多い

◎23区の中で、大田区は0～4歳の転出超過数が最も多くなっており、次いで、品川区、新宿区の順になっている。



（資料）総務省「住民基本台帳人口移動報告」を基に作成

データブック：P.24

9 交通

連続立体交差事業により区内交通の利便性は向上している。鉄道駅乗車人員は新型コロナにより大幅に減少した。

■京急蒲田駅を中心とした環状８号線等の踏切が解消したことにより、区内交通の利便性は大きく向上した。

■鉄道駅乗車人員はこれまで微増傾向にあったものの、新型コロナの影響により大幅に減少した。

■コミュニティサイクルはポート設置数の増加に伴い、利用回数が増加している。

■自動車の保有台数は減少傾向にある。一方で、区内のカーシェアリング車両台数は年々増加している。

京急蒲田駅を中心とした踏切解消により道路交通が円滑化した

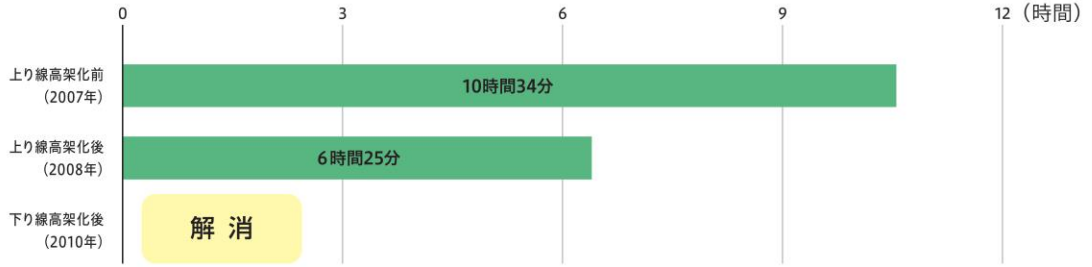
◎連続立体交差事業により、平和島駅から六郷土手駅、京急蒲田駅から大鳥居駅間の計28か所の踏切が除却した。

◎京急蒲田駅付近の環状８号線や第一京浜国道において、踏切遮断時間（環状８号線では約10時間/日）が解消された。





環状８号線の踏切における1日当たりの踏切遮断時間

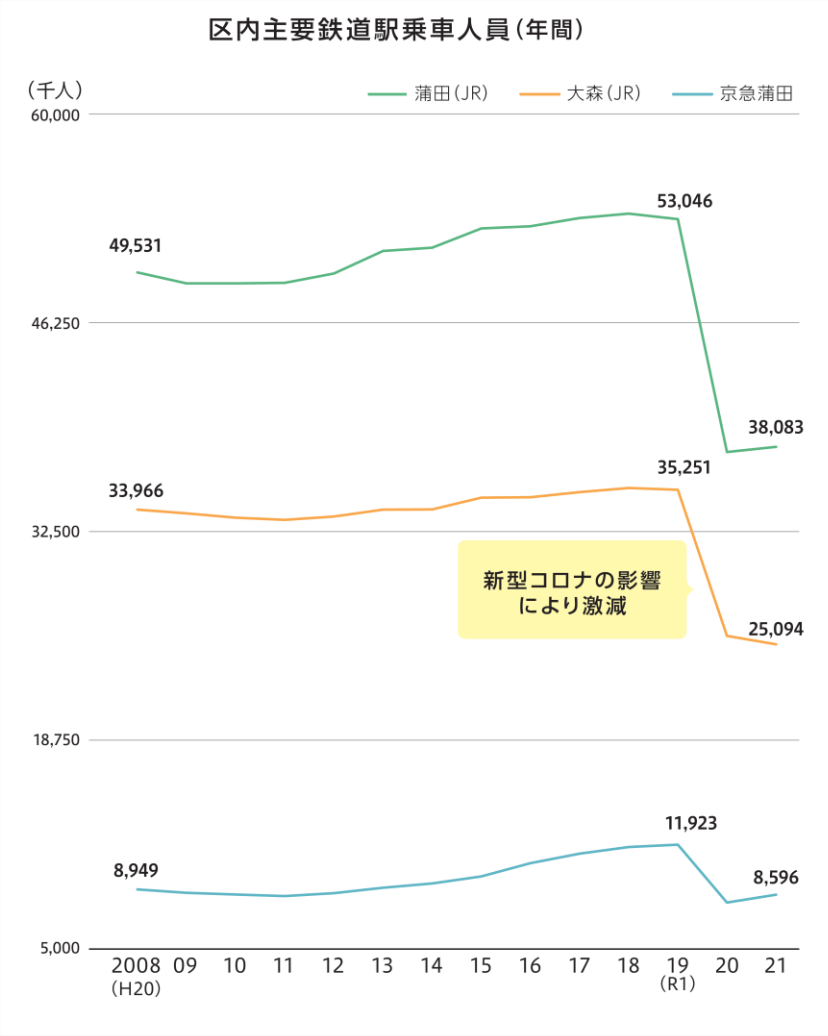


（資料）「全国街路事業コンクール応募資料」を基に作成

データブック：P.25

鉄道駅乗車人員は新型コロナの影響により大幅に減少している

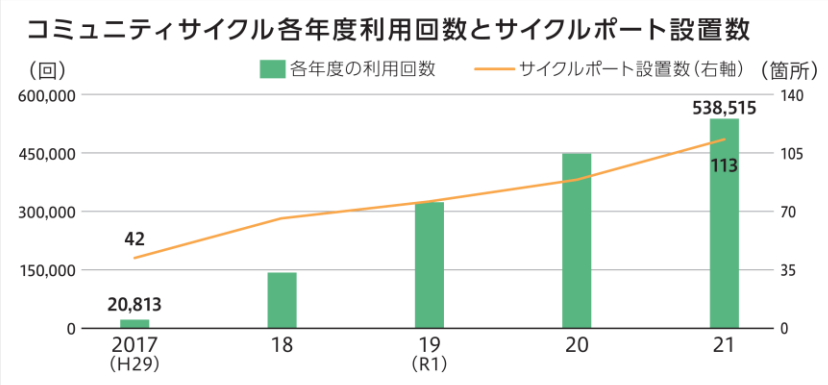
◎区内の主要鉄道駅の乗車人員は微増傾向であったが、新型コロナの影響で乗車人員は一時的に減少している。



（資料）「大田区政ファイル」を基に作成

コミュニティサイクルは年々利用者が増加している

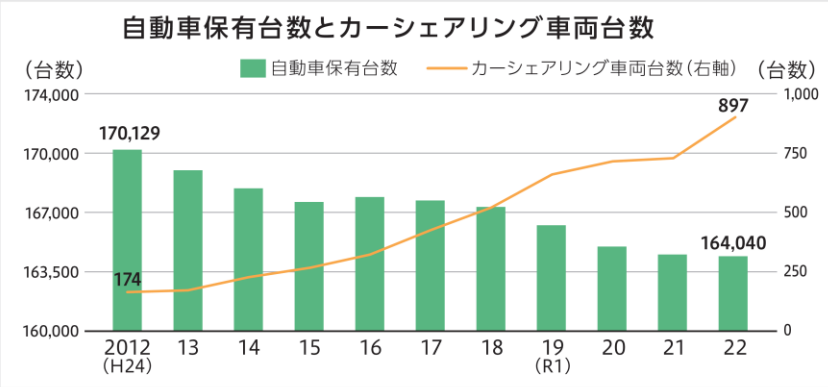
◎2017年から始まったコミュニティサイクルは、ポート設置数の増加に伴い利用回数が増加した。



（資料）交通臨海部特別活性化委員会資料を基に作成

自動車の保有台数は減少しているが、一方でカーシェアリング車両台数は増加している

◎自動車保有台数は減少している。
◎カーシェアリングが普及し、車両台数は増加した。



（資料）関東運輸局「市区町村別自動車保有車両数」、カーシェア・マップリサーチセンターを基に作成

データブック：P.28

11 住まい

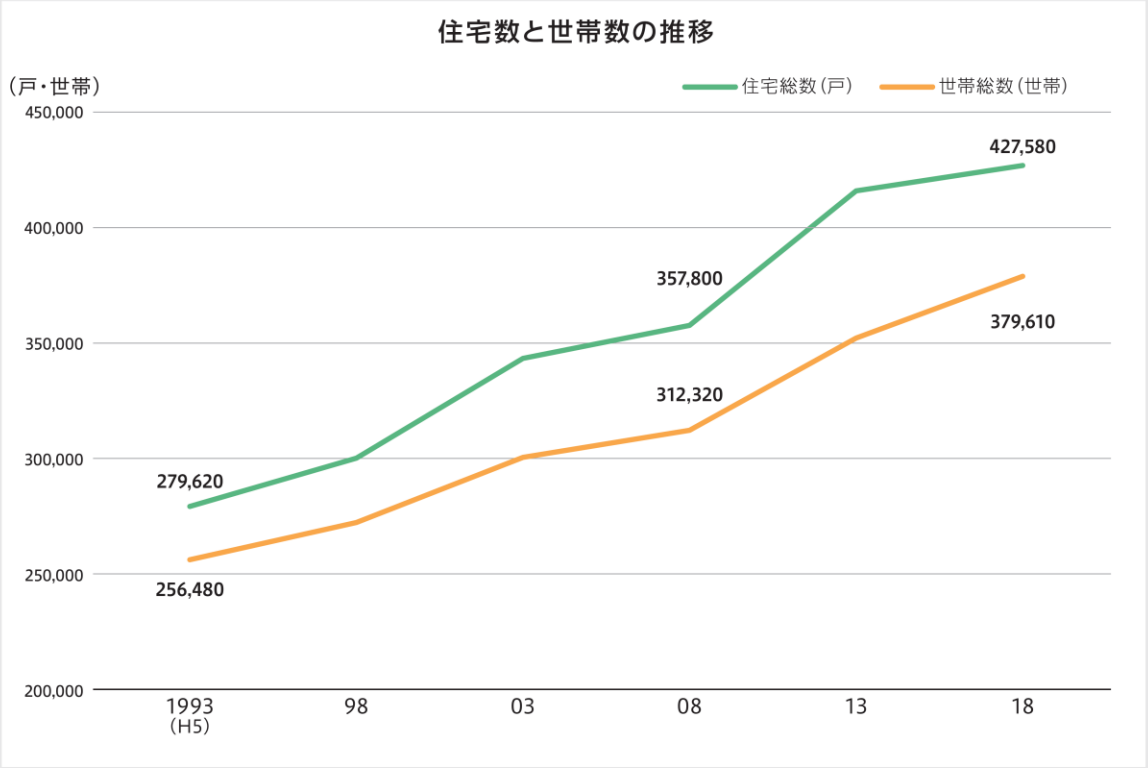
世帯総数は増えているが、住宅総数も増加しており、量的には充足している。

- 住宅数は世帯数を上回り続けており、量的には充足している。
- 高齢単身世帯数は年々増加しており、2000年に高齢夫婦世帯数を上回った後、その差は広がっている。
- 区が把握している適正に管理されていない空家は増加傾向にある。
- 「職住近接」の傾向が強く、昼夜間人口にも大きな差はない。

住宅数は世帯数を上回り続けており、量的には充足している

◎世帯数は2008年の312,320世帯から379,610世帯に増え、住宅数は357,800戸から427,580戸に増えた。世帯数の増加に合わせて、住宅数は2008年と比較して約1.2倍に増加した。

◎住宅数は世帯数を常に上回り続けており、量的には充足している。

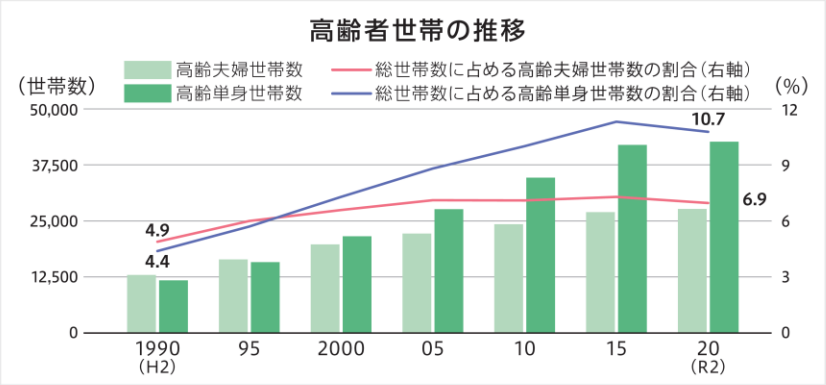


(資料)「大田区住宅マスタープラン」、「住宅・土地統計調査」を基に作成

データブック：P.29

高齢単身世帯数は増加傾向にある

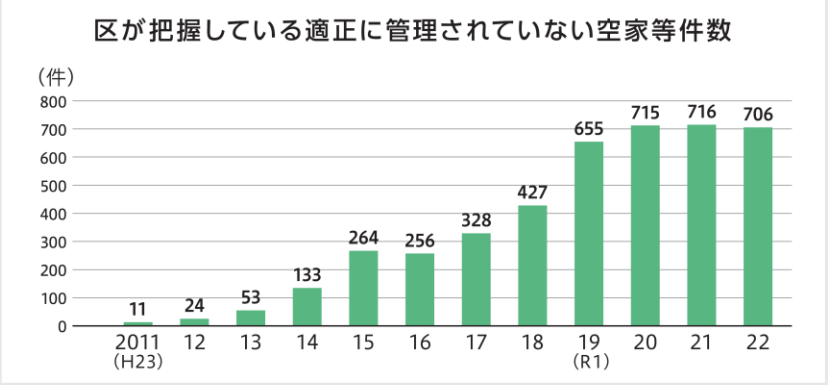
◎高齢単身世帯数は年々増加しており、2000年に高齢夫婦世帯数を上回った後、その差は広がりつつある。



（資料）総務省「国勢調査」を基に作成

適正に管理されていない空家は増加傾向にある

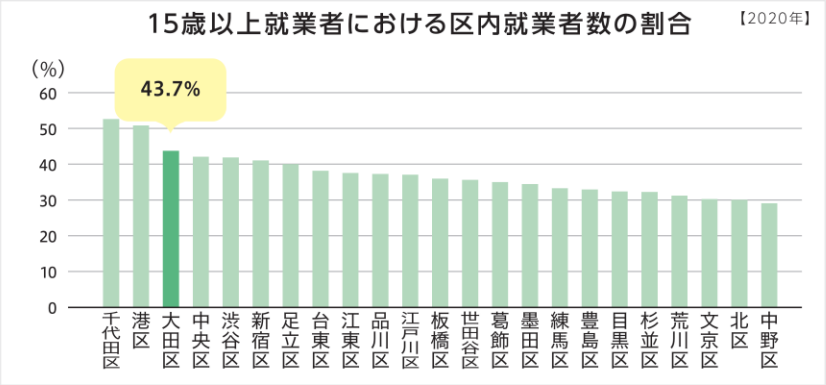
◎区に寄せられた空家等情報により把握している空家等件数は2020年までは上昇傾向にあったが、以降はおおむね横ばいとなっている。



（資料）「大田区空家等対策計画」を基に作成

区内就業者数の割合が高い

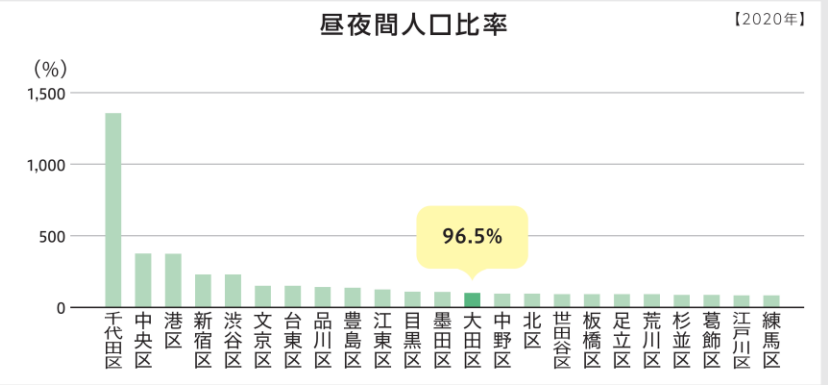
◎千代田区、港区に次いで３番目に区内就業者の割合が高く、職住近接の傾向が強い。



（資料）「大田区住宅マスタープラン」、総務省「国勢調査」を基に作成

昼夜間人口比率は96.5%

◎大田区の昼夜間の人口比率は96.5%であり、昼間と夜間の人口に大きな差はない。



（資料）総務省「国勢調査」を基に作成

データブック：P.40

17 DX

デジタル・トランスフォーメーション

日本以上のスピードで世界のデジタル・トランスフォーメーションが進んでいる。手続のオンライン化への取組は道半ばである。

■2022年の日本のデジタル競争力は過去最低の順位となっており、世界各国のDXに後れを取っている。

■日本は無線通信環境や技術面で高い評価を得ているものの、ビッグデータの活用や企業の迅速なデジタル対応は最下位となっている。

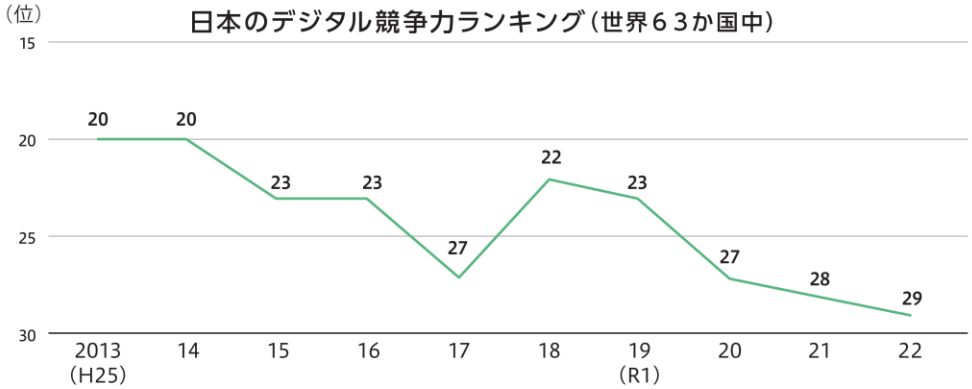
■区民等からの申請手続の中で、オンライン化の対象となるもののうち、約97％は未対応であり、オンライン化の余地が残っている。

■区民の4人に1人は、手続がオンラインでできることを認識しているにもかかわらず、あえてオンライン以外の方法を選択している。

■マイナポイント施策等を経てマイナンバーカードの交付率は大きく上昇した。

日本は強みはあるものの、コロナ禍で急激に進んだ世界のDXに後れを取る

◎2022年の日本のデジタル競争力は過去最低の順位となっており、コロナ禍で急激に進んだ世界各国のDXに後れを取っている。
◎日本は無線通信環境や技術面で高い評価を得ているものの、ビッグデータの活用や企業の迅速なデジタル対応は最下位となっている。



2022年総合順位

順位	国名
1	デンマーク
2	アメリカ
3	スウェーデン
4	シンガポール
⋮	⋮
29	日本

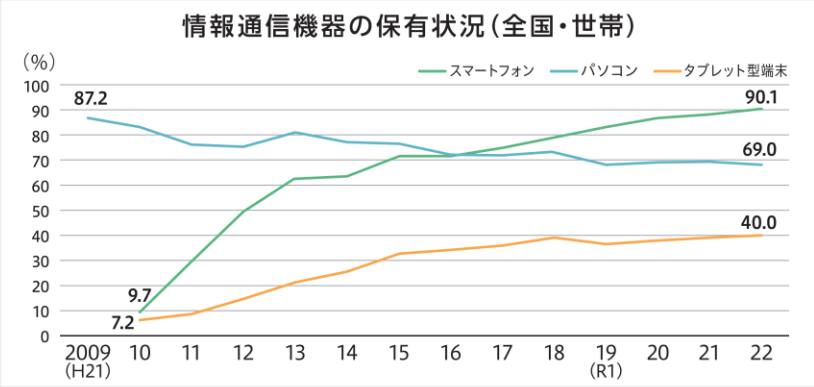
2022年指標別順位（一部抜粋）

指標名	順位
高等教育の生徒当たり教師数	1
ワイヤレスブロードバンド加入者数	2
世界へのロボット供給	2
機会と脅威への迅速な対応	63
企業の俊敏性	63
ビッグデータの活用・分析	63

（資料）IMD「World Digital Competitiveness Ranking」を基に作成

2017年にスマートフォンの保有率がパソコンを抜いて1位となった

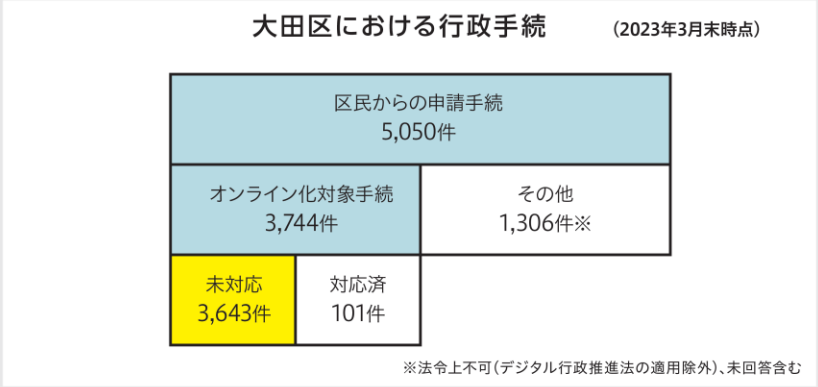
◎2017年にスマートフォンの保有率がパソコンを抜いて1位となった。
◎2022年は90.1%の世帯がスマートフォンを保有している。



（資料）総務省「通信利用動向調査」を基に作成

行政手続のオンライン化の取組は道半ばである

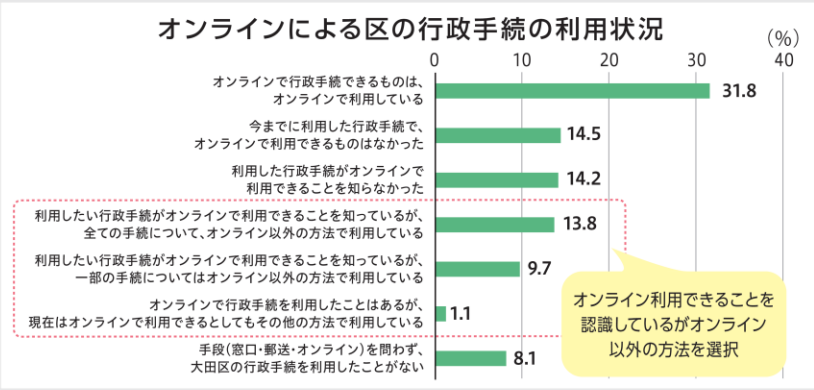
◎区民等からの申請手続のうち、オンライン化の対象となるものは3,744件あるが、うち約97%は未対応である。



（資料）大田区DX推進本部資料を基に作成

オンライン手続を利用しない区民も多い

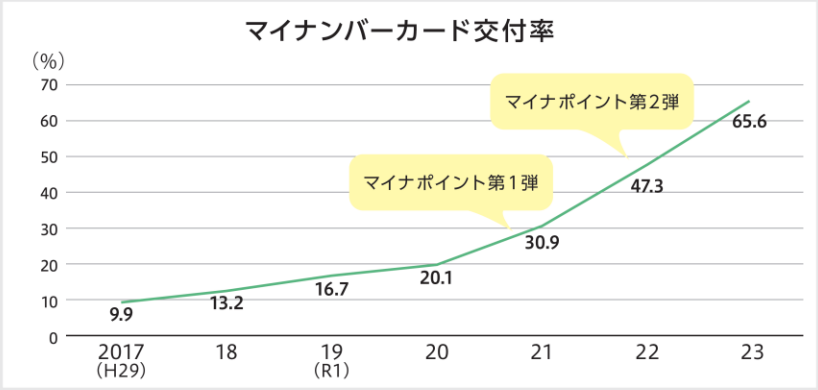
◎区民の4人に1人は、手続がオンラインで利用できることを認識しているにもかかわらず、あえてオンライン以外の方法を選択している。



（資料）「区の現状把握及び課題抽出のためのアンケート調査報告書」を基に作成

マイナンバーカードの交付率は大きく上昇した

◎マイナポイント施策等を経てマイナンバーカードの交付率は大きく上昇した。



（資料）総務省「マイナンバーカード交付状況について」を基に作成

データブック：P.42

18 自治体経営

経常収支比率は改善傾向にある。行政需要の増大等に伴い歳出決算額は増加傾向にある一方で、職員現員数は減少傾向にある。

■経常収支比率は、リーマンショックにより一時的に悪化したが、近年は改善傾向となっている。

■経済活動の停滞等による一般財源の減収局面に備えて、計画的に基金残高を確保している。

■特別区債残高は、発行抑制や償還を進めたことで、着実に減少している。

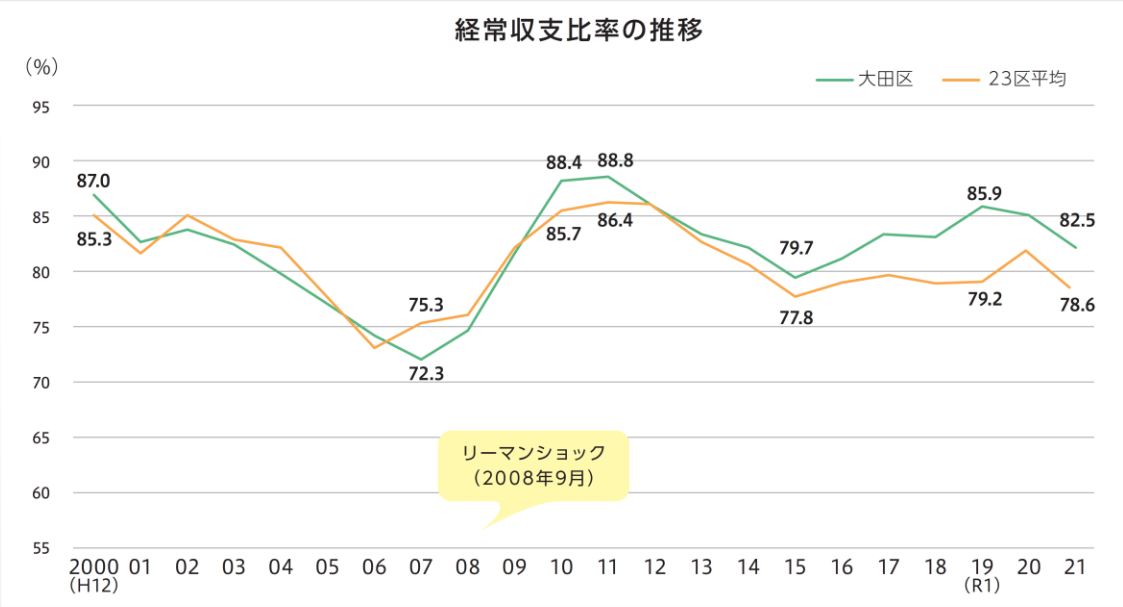
■行政需要の増大・多様化等に伴い、歳出決算額は増加傾向にある一方、職員の現員数は着実な業務改革の取組により減少傾向にある。

■管理職に占める女性職員の割合は、2008年と比較して増加しているが、近年は横ばいとなっている。

経常収支比率は、リーマンショックにより悪化したが、近年は改善傾向である

◎経常収支比率は、リーマンショックにより一時的に悪化したが、近年は改善傾向となっている。
◎大田区の経常収支比率は、23区平均を上回っている。

※経常収支比率：財政の硬直度を表すものさしとなる指標。
この数値が高いということは、義務的経費以外に使える財源に余裕がないことを示す。



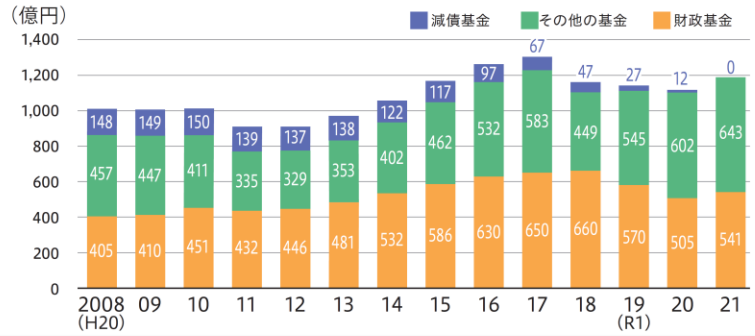
(資料)「OTAシティ・マネジメントレポート」を基に作成

データブック：P.43

将来の財政需要等に備え、計画的に基金残高を確保している

◎リーマンショック、新型コロナに伴う経済活動の停滞等による一般財源の減収局面においては、基金の適切な活用が必要となる。

基金総額と主な内訳の推移

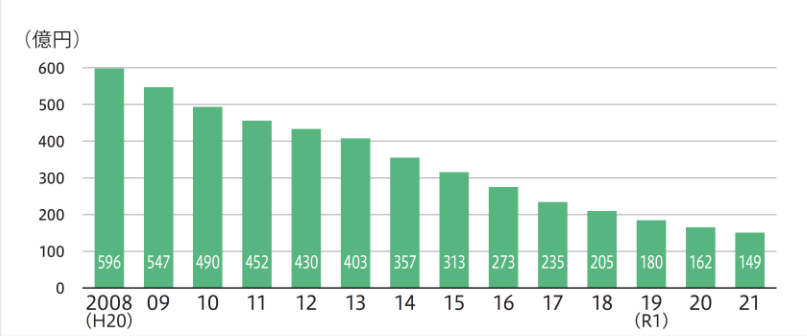


（資料）「OTAシティ・マネジメントレポート」を基に作成

特別区債の残高は着実に減少している

◎近年の大田区の財政体質は、区債残高が着実に減少し、今後の公共施設等の維持・更新を計画的に進めるため、発行余力を蓄えている。

特別区債現在高の推移

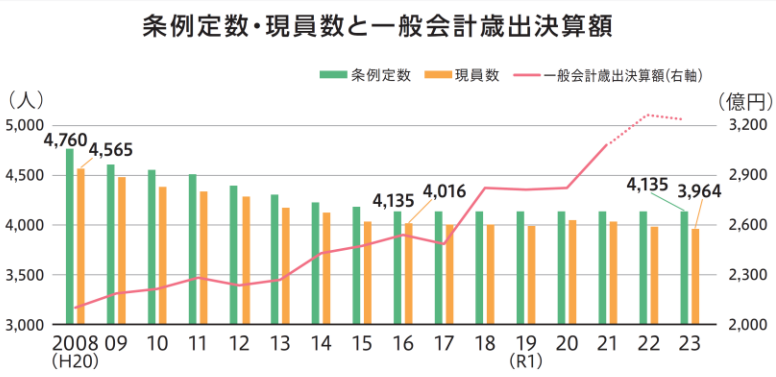


（資料）「OTAシティ・マネジメントレポート」を基に作成

区の歳出決算額は増加傾向にあるが、現員数は減少傾向にある

◎行政需要の増大・多様化等に伴い、歳出決算額は増加傾向にある。一方、職員の現員数は、外部化を含む着実な業務改革の取組により減少傾向にある。

条例定数・現員数と一般会計歳出決算額



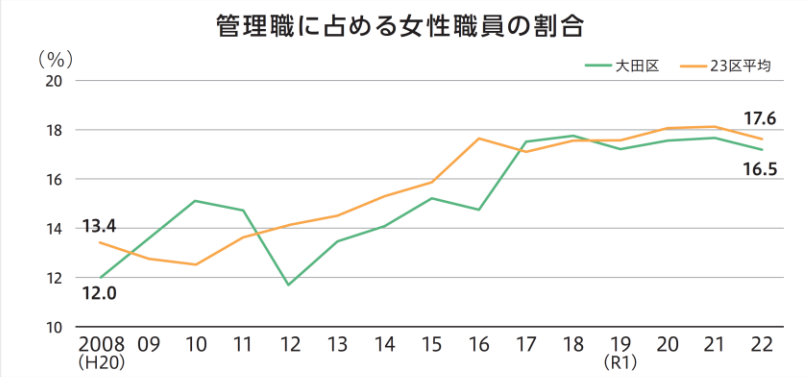
（資料）「大田区職員定数基本計画」等を基に作成

※「条例定数」…大田区職員定数条例に定める職員の定数の合計(事務事業を執行していくために必要な「現員数」の上限)。
「現員数」…区に在籍している全ての職員数(総職員数)から大田区職員定数条例で定める定数外職員(派遣、休職、育児休業など)を除いた人数。

管理職に占める女性職員の割合は2008年から上昇したが、近年は横ばいである

◎大田区の管理職に占める女性職員の割合は、2008年と比較して増加しているが、近年は横ばいとなっており、23区平均をわずかに下回っている。

管理職に占める女性職員の割合



（資料）内閣府男女共同参画局「地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況」を基に作成

データブック：P.44

23区で唯一空港があるまち おおた

①羽田空港の概要

◎1931年に「東京飛行場」として正式開港以来、首都・東京の玄関口として機能し、国内の空港の中でも特に利用者数が多く、発着容量は48.6万回/年と日本最大の空港となっている。

国内線	国際線
49空港 約500便/日（往復）	25ヵ国・地域 51都市 最大144便/日（往復）



②ランキングで見る羽田空港

◎利用者数は全国1位、世界5位（2019年度）。

順位	空港	年間旅客数
1	**羽田**	**8,222万**
2	成田国際	3,954万
3	関西国際	2,866万
4	福岡	2,304万
5	新千歳	2,281万

（資料）国土交通省資料を基に作成

順位	空港	年間旅客数
1	アトランタ	11,053万
2	北京	10,001万
3	ロサンゼルス	8,807万
4	ドバイ	8,640万
5	**羽田**	**8,551万**

（資料）「Airports Council International Worldwide-Airport Traffic Report-Calendar Year 2019」を基に作成

◎様々なランキングでも世界的に優秀な成績を誇る（2023年度）。

清潔な空港部門	8年連続1位	PRM※対応部門	5年連続1位
国内線空港総合評価部門	11年連続1位		

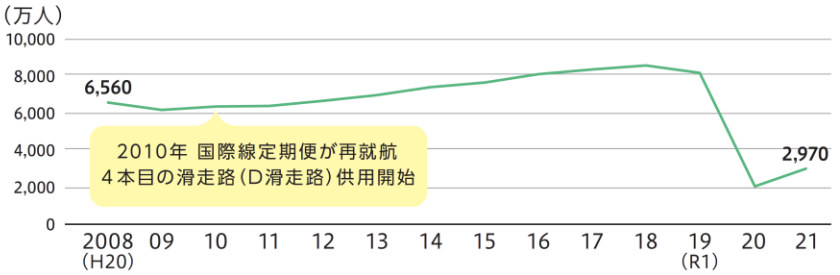
※PRM：高齢者、障がいのある方や怪我をされた方のことを指す

（資料）英SKYTRAX社2023年調査による

③羽田空港の乗降客数

◎利用者数は国際線再就航後、年々増加している。コロナ禍により一時的に減少したが、現在回復傾向にあり、今後コロナ禍前まで戻ると見込まれている。

羽田空港乗降客数の推移



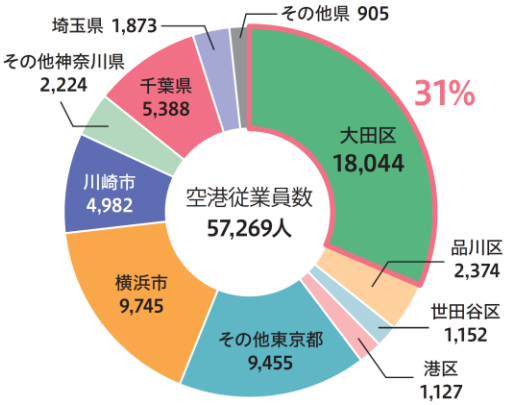
（資料）国土交通省「暦年・年度別空港管理状況調書」を基に作成

④羽田空港勤務者の居住地

◎羽田空港に勤める従業員約57,000人の居住地を自治体別に見た場合、大田区が圧倒的に多く、全体の約3割を占めている。

◎都県別の場合、東京都が約56%、神奈川県が約30%となっている。

羽田空港勤務者の居住地（2020年度）



（資料）国土交通省資料を基に作成

ホットトピック・1 羽田イノベーションシティにおける取組

①羽田イノベーションシティの事業コンセプト

◎公民連携により事業を推進することで、世界と地域をつなぐゲートウェイとして国内外のヒト・モノ・情報を集積させ、ここに集う国内外のプレイヤーが互いに交流し、新たなビジネスやイノベーションを創造するとともに、国内外に日本のものづくり技術や日本各地域の魅力を発信する「新産業創造・発信拠点」の形成を目指している。2023年11月ごろにグランドオープンを予定している。



②先端産業と文化産業の主な取組





自動運転バス



足湯スカイデッキ





ロボット研究開発拠点



ARスポーツ「HADO」



Zepp Haneda

画像提供：羽田みらい開発株式会社

③スマートシティの取組

◎持続可能都市大田区の形成を支えるスマートシティの構築

- ✓ 解決が困難な社会課題に対する解決策を生み出すため、先端技術を活用した実験の場（テストベッド）となるスマートシティを羽田空港跡地第1ゾーンに構築
- ✓ 国土交通省スマートシティ事業にて「スマートシティ実装化支援事業」に選定



モビリティ

自動運転バスによる実証実験





ロボティクス

ロボットデリバリーサービスの導入検証

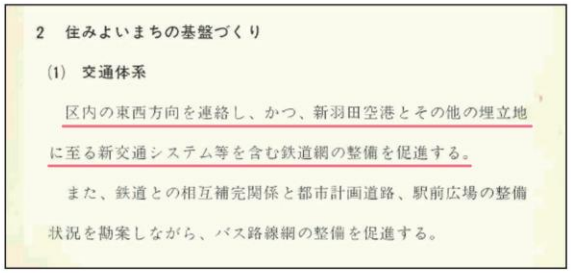
データブック：P.46

ホットトピック・2　新空港線実現への歩み

①新空港線構想の誕生

◎新空港線の構想が初めて明文化されたのは昭和57年の大田区基本構想。そこから大田区は今日に至る約40年間新空港線の実現に向けた取組を進めてきた。





2　住みよいまちの基盤づくり

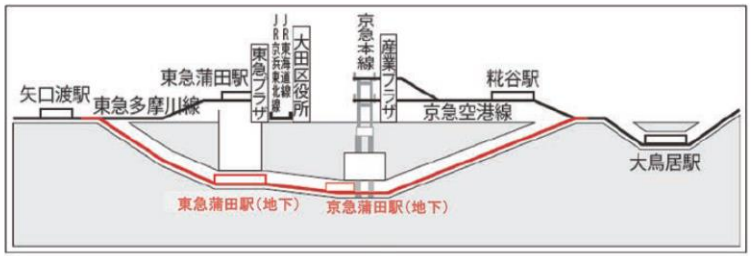
(1)　交通体系

区内の東西方向を連絡し、かつ、新羽田空港とその他の埋立地に至る新交通システム等を含む鉄道網の整備を促進する。

また、鉄道との相互補完関係と都市計画道路、駅前広場の整備状況を勘案しながら、バス路線網の整備を促進する。

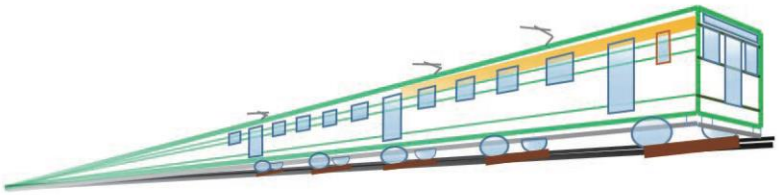
②新空港線の概要

◎新空港線は、矢口渡～大鳥居をつなぐ鉄道新線。東急多摩川線矢口渡駅付近から多摩川線を地下化し、東急蒲田駅(地下)、京急蒲田駅(地下)を通り、大鳥居駅の手前で京急空港線に乗り入れる計画となっている。

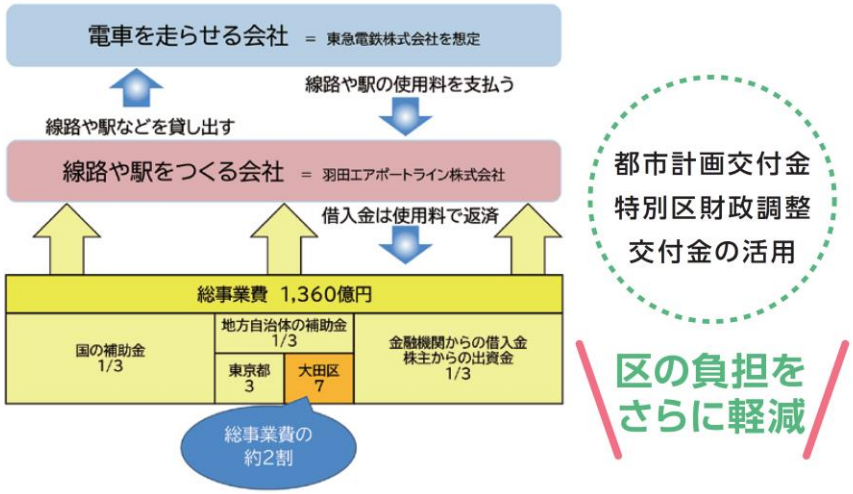


③「羽田エアポートライン株式会社」設立

◎令和４年10月に大田区と東急電鉄株式会社との共同出資により、新空港線の整備主体となる第三セクターの羽田エアポートライン株式会社を設立。



④整備事業における費用の仕組み



ホットトピック・3　大田区のＳＤＧｓ推進について

①ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）とは

◎ＳＤＧｓは、2015年開催の国連サミットにおいて全会一致で採択された**2030年までに達成すべき国際目標**

◎先進国を含む国際社会共通の目標として、持続可能な世界を実現するための包括的な**17のゴールと169のターゲット**で構成されている。



ＳＤＧｓの達成に向けて

- ✓ 国家レベルだけでなく、一般市民や産業界等の**多様な主体の連携・協力**が必要
- ✓ **自治体行政**は、地域の経済・社会や歴史・文化等の**実態に即した施策を推進する責任・役割**を担う。

◎ＳＤＧｓ推進に向けた大田区の動き

・2022年３月 大田区におけるＳＤＧｓ推進のための基本方針を策定
・2022年４月 大田区ＳＤＧｓ推進会議を設置

大田区は2023年度
「ＳＤＧｓ未来都市」・「自治体ＳＤＧｓモデル事業」に
「ダブル選定」されました！

ＳＤＧｓ未来都市とは

◎ＳＤＧｓの理念に沿った取組を推進しようとする都市の中から、**特にポテンシャルが高い都市を選定する内閣府の制度**

◎**毎年30都市程度がＳＤＧｓ未来都市として認定**され、うち**特に優れた10都市**はモデル事業選定都市、いわゆる**ダブル選定都市**として認定される。



選定証を手に記念撮影をする鈴木区長

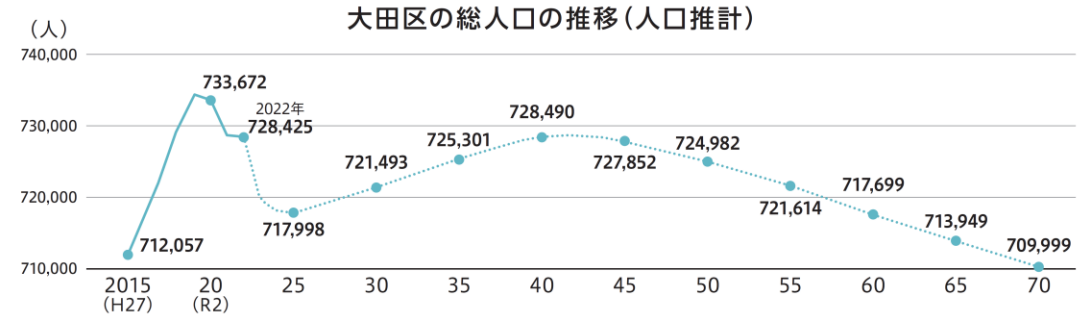
データブック：P.50

大田区の総人口はコロナ禍で減少に転じた後、2025年以降再び増加するが、2040年から本格的な人口減少時代に突入する。

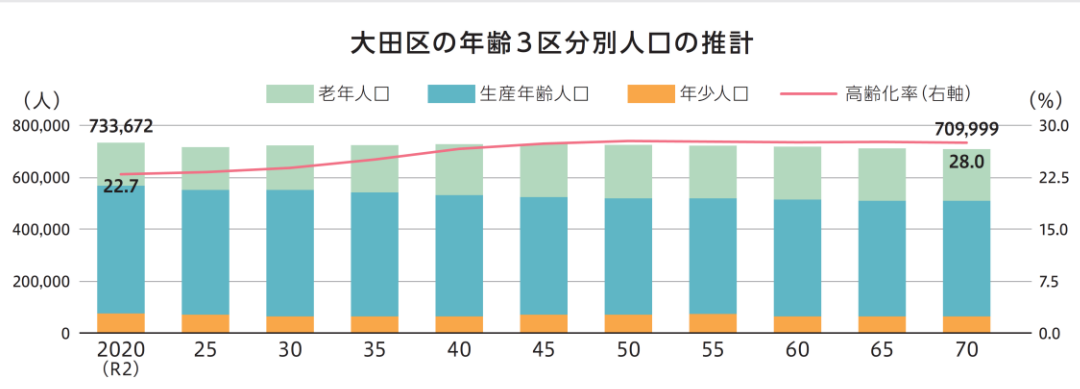
- 大田区の総人口は2040年から減少することが見込まれる。
- 高齢化率は、全国と比べて緩やかではあるものの上昇する。特に2030年から2050年にかけて大きく上昇することが見込まれる。
- 2040年には65歳以上の人口が大幅に増加し、年齢構成の比重が高齢寄りに変化することが見込まれる。
- 総世帯数が減少する一方、単独世帯率の増加が見込まれる。
- 人口の社会増減はコロナ禍でマイナスになったが、2025年以降はプラスに戻ることが見込まれる。一方、自然増減はマイナスが続く。

2040年から本格的な人口減少が見込まれる

◎総人口は2025年から増加に転じるが、2040年をピークに減少に転じる。
◎総人口は2020年から2070年までのおよそ50年で約24,000人（約3.2%）減少する。
◎高齢化率は50年で5.3%上昇し、特に2030年から2050年にかけて大きく上昇する。



（資料）「大田区人口推計」を基に作成



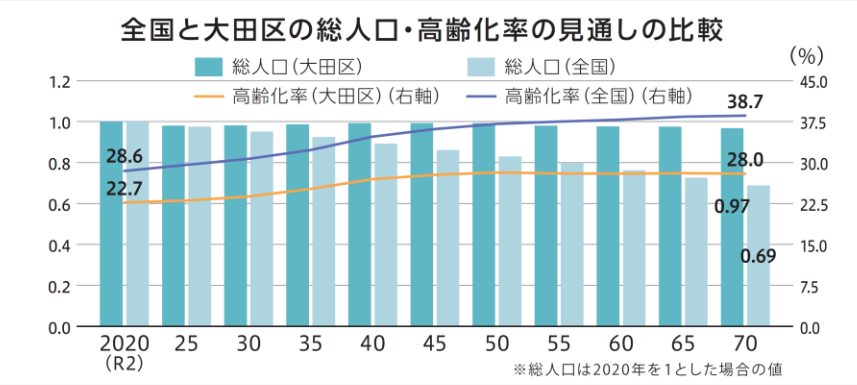
（資料）「大田区人口推計」を基に作成

3章　人口推計

データブック：P.51

大田区の人口減少・高齢化の進行速度は全国より緩やか

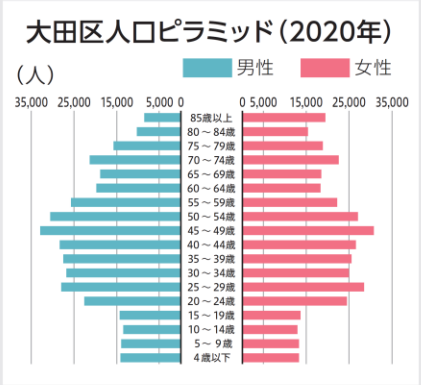
◎人口の減少・高齢化率の上昇が予測されるが、その傾向は全国よりも緩やかである。

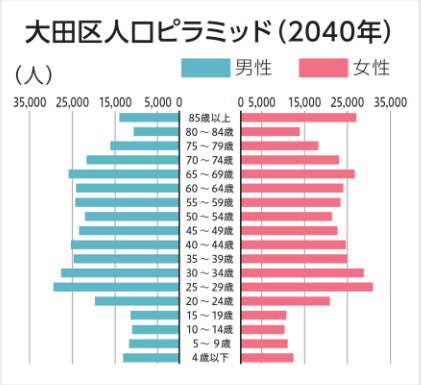


（資料）「大田区人口推計」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（令和5年推計）」を基に作成

2020年からの20年間で人口ピラミッドの重心は更に上がる

◎2040年には65歳以上の人口が大幅に増加し、年齢構成の比重が高齢寄りに変化することが予測される。

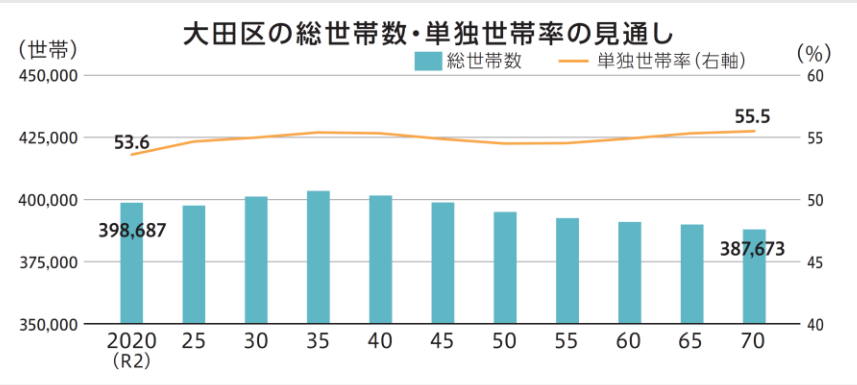




（資料）総務省「国勢調査」、「大田区人口推計」を基に作成

世帯数が減少する一方で、単独世帯率は上昇する

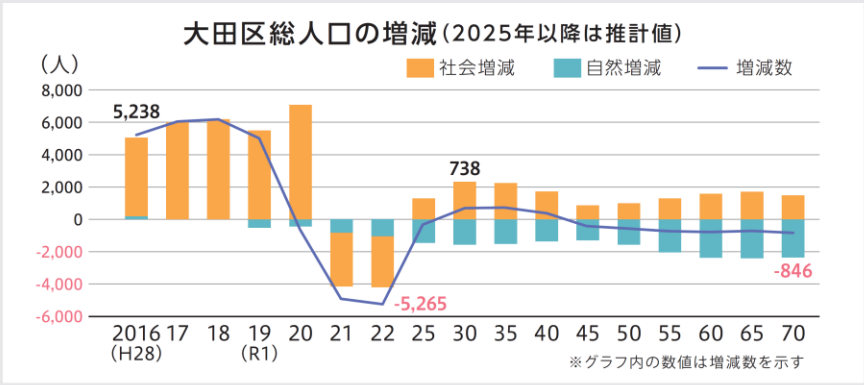
◎大田区の世帯数は、およそ50年で約10,000世帯（約2.8％）減少する。また、単独世帯の割合は、およそ50年で1.9％増加する。



（資料）「大田区人口推計」を基に作成

社会増減はプラスになる一方で、自然増減はマイナスが続く

◎人口の社会増減はコロナ禍でマイナスになったが、2025年以降はプラスに戻ることが予測される。一方、自然増減はマイナスが続く。



（資料）「大田区人口推計」を基に作成

データブック：P.52

大田区の外国人区民は今後も増加を続けることが見込まれる。

■大田区の外国人区民は今後も増加することが見込まれる。

■総人口に対する外国人区民の割合は年々上昇し、2070年には約4.7%になることが見込まれる。

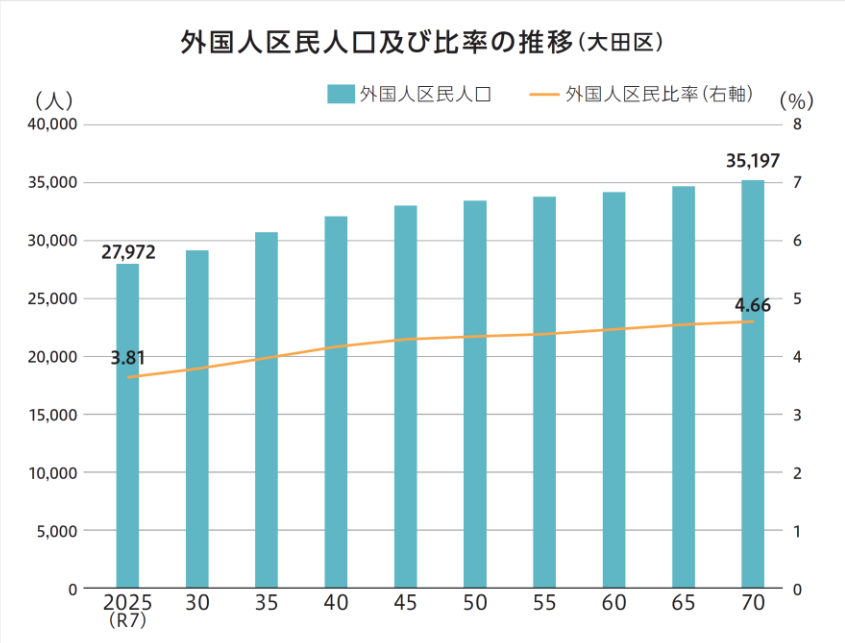
■日本全体の外国人住民は今後も増加し、2070年には2020年の3倍以上の人口となることが見込まれる。

■外国人住民の割合は同様に年々上昇し、2070年には10%を超えることが見込まれる。

大田区の外国人区民は増加を続ける見通し

◎外国人区民は今後も増加することが見込まれる。

◎総人口に対する外国人区民の割合は年々上昇し、2070年には約4.7%になることが見込まれる。

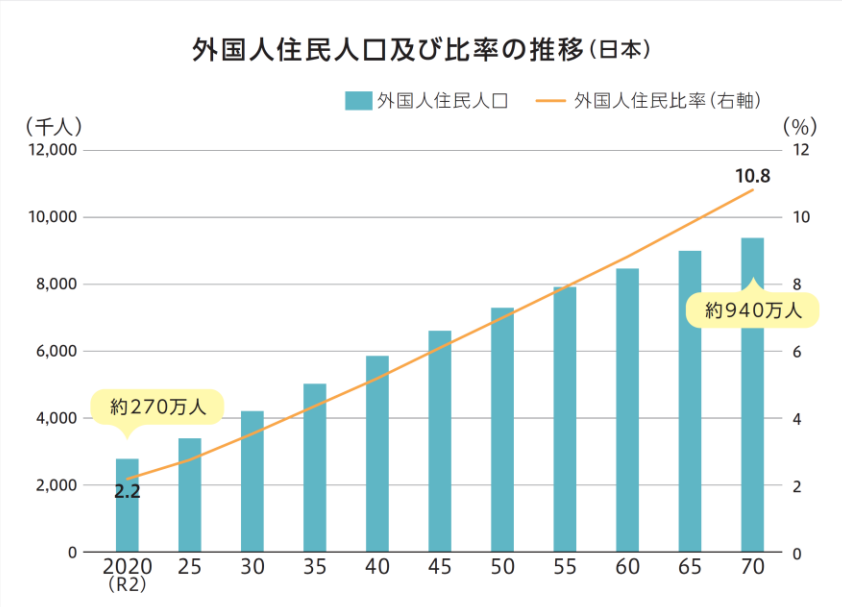


（資料）総務省「国勢調査」を基に大田区作成

日本の外国人住民は今後も増加が見込まれる

◎日本全体の外国人住民は今後も増加し、2070年には2020年の3倍以上の人口となることが見込まれる。

◎外国人住民の割合は同様に年々上昇し、2070年には10%を超えることが見込まれる。



（資料）国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（令和5年推計）」を基に作成

データブック：P.54

DXに関する先進事例（国内）

書かない窓口の推進（神奈川県横須賀市）



◎**「書かない窓口」**の取組。手続の**事前案内や届出書の電子作成等**により、窓口で書類を書かずに円滑に手続が行えるようになった。

写真：神奈川県横須賀市提供

自動配送ロボットの社会実装が本格化（経済産業省）

◎2023年4月1日「道路交通法の一部を改正する法律」の施行により、**一定の要件を満たすロボットは、届出制により公道を走行できる**ようになった。



写真：経済産業省提供

自治体運営によるドローン配送サービス（長野県伊那市）



◎物流や交通機能が低下している中山間地域の高齢者を中心に、**日用品の買物困難地域の住民や企業と連携**し、**ドローン配送システム**を構築した。

写真：長野県伊那市提供

3D都市モデルの整備・活用・オープン化（熊本県玉名市）

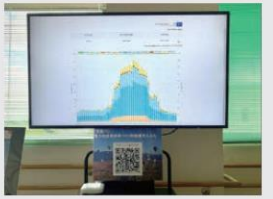


◎国土交通省が主導するプロジェクトに参画し、**時系列浸水シミュレーションデータを3D可視化し、防災指針検討**への活用を行った。

写真：熊本県玉名市提供

ブロックチェーンを活用し公共施設のCO_2削減量をリアルタイムに可視化（佐賀県佐賀市）

◎**ブロックチェーン**を活用し、清掃工場ごみ発電所の発電実績記録と、公共施設の利用実績の記録を一元化し、**リアルタイムでの地産地消率、CO_2削減量の表示**を可能にした。



写真：佐賀県佐賀市提供

分身ロボットを活用した、入院等をしている子どもの教育機会の提供（愛知県豊橋市）



◎分身ロボット「OriHime」は**カメラ等が搭載された遠隔操作ロボット**であり、教室に置くことで、**児童・生徒が病院等からリアルタイムで授業に参加**することを可能にした。

写真：オリィ研究所提供

データブック：P.55

DXに関する先進事例（海外）

行政サービスを一元的に提供するアプリケーションの開発（アメリカ・ミシガン州）



◎モバイルアプリケーション「MiPage」を開発し、州の**あらゆる行政サービスを統合して提供する**ことを目指している。

（出典）日本貿易振興機構「米国行政における電子化（デジタルガバメント）及びクラウド活用の現状」より作成

AIによる下水道管の点検（韓国・ソウル特別市）

◎下水道内の汚染水の漏洩や、地盤の沈下・陥没を防ぐため、**AIによる下水道パイプライン欠陥検出システム**を整備した。



（出典）Urban SDGs Knowledge Platform「AI Based Sewage Pipeline Defect Detection System」より作成

ビッグデータを活用した安全確保（韓国・ソウル特別市）



◎交通事故の発生状況、児童の通学路のデータ、ヒヤリハット体験地点、危険認識地点等の**ビックデータを収集・分析し、交通安全指導員の配置や標識の設置**に反映した。

（出典）Urban SDGs Knowledge Platform「Make Going to School Safe Using Public Big Data」より作成

デジタルプラットフォームによる学校と家庭の連携強化（フィリピン・バランガ市）



◎**保護者と教師の双方がアクセス可能なデジタルプラットフォーム上で生徒の成績等の情報を整理**し、学校と家庭の連携の強化を図っている。

（出典）Urban SDGs Knowledge Platform「City of Balanga Education Unified Portal Solution」より作成

医療におけるAR（拡張現実）の活用（中国）

◎重症新生児のオンライン面会において、**看護師がAR眼鏡をかけて看護**することで、家族は**看護師の視点でよりリアルな面会を体験**できる。



（出典）日本貿易振興機構「中国で蓄積が進む5Gの活用事例（ユースケース）」より作成

ビッグデータを活用した都市課題の解決（アメリカ・イリノイ州）



◎センサ装置を街中に設置し、**天気や騒音などの都市環境に関するデータをリアルタイムで収集**する。そのデータは、大気汚染やヒートアイランド現象、渋滞などの**都市課題の解決に向け、研究機関や公的機関が利用**する。

（出典）Array of Thingsより作成

データブック：P.60

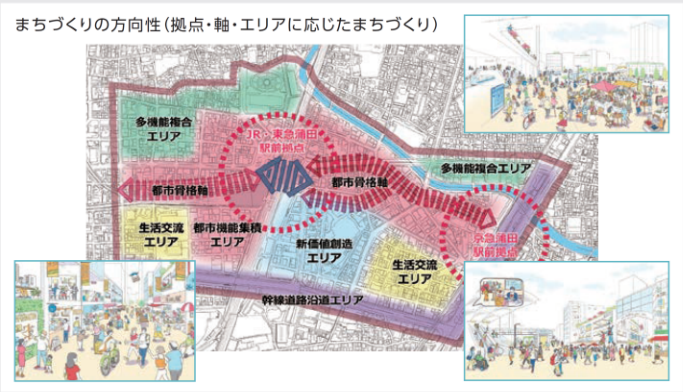
新空港線整備を契機に蒲田駅・大森駅周辺などで、魅力的な鉄道沿線のまちづくりが進められる。リニア中央新幹線の開通により巨大な経済圏の誕生が見込まれる。

■蒲田では「にぎわいあふれる多文化都市、誰もが安心して気持ちよく過ごせる人にやさしい蒲田」をまちの将来像に掲げ、東西駅前広場、東西自由通路、駅舎・駅ビルなどJR・東急蒲田駅周辺の基盤施設の整備検討を行っている。

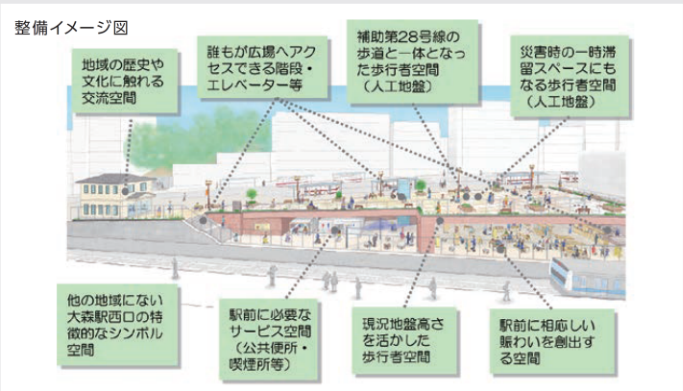
■大森では東京都の事業である補助第28号線池上通りの拡幅と区の事業である大森駅西口広場の一体整備に向け、関係機関との調整・協議を進めている。

蒲田・大森駅周辺において魅力的なまちを目指したまちづくりが進められる

◎蒲田駅を中心とする地区における都市基盤を再整備し、周辺街区の老朽化した建物の更新を促進させるなど、蒲田駅周辺の一体的なまちづくりを進めている。



◎大森駅西口では、令和４年１月に都市計画決定をした池上通り及び大森駅西口広場の整備に向けて、取組を進めている。



（資料）「蒲田駅周辺地区グランドデザイン」、「大森駅西口周辺の都市基盤施設整備方針」を基に作成

データブック：P.61

リニア中央新幹線により、東京から大阪までの巨大な経済圏が誕生する

◎リニア中央新幹線の開業により、三大都市圏が1時間で結ばれ、三大都市圏がそれぞれの特色を発揮しつつ一体化し、4つの主要国際空港※1、2つの国際コンテナ戦略港湾※2を共有し、世界からヒト、モノ、カネ、情報を引きつけ、世界を先導する「スーパー・メガリージョン※3」の形成が期待される。

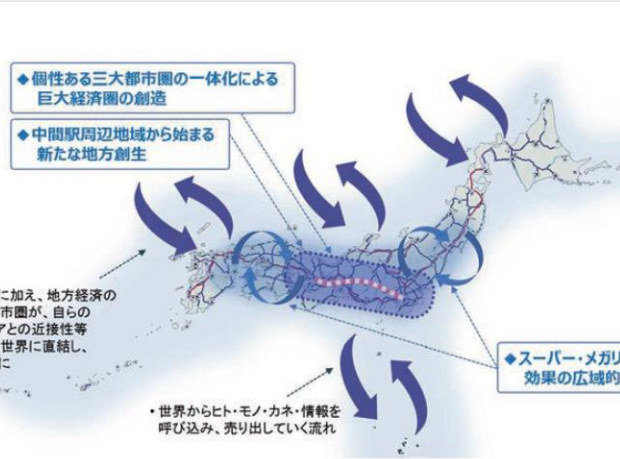
※1：成田国際空港、羽田空港、中部国際空港、関西国際空港
※2：京浜港、阪神港
※3：大都市とその周辺都市で構成される新しい経済単位

国土交通省が示すリニア中央新幹線がもたらすインパクト

分類	リニア中央新幹線がもたらすインパクト
ライフスタイル	リニア開通による時間と場所からの解放が、暮らしに多様な選択肢をもたらす。
経済	東京圏・名古屋圏・大阪圏が一体化し、その三大都市圏を合わせたGDPは、フランスやイギリスを超え、ドイツに迫る。
災害	リニアと新幹線・高速道路ネットワークが有機的につながり、多重性・代替性が強化される。
観光	三大都市圏の一体化によって、海外からの魅力が向上する。

リニア中央新幹線整備による鉄道日帰り交通圏の拡大





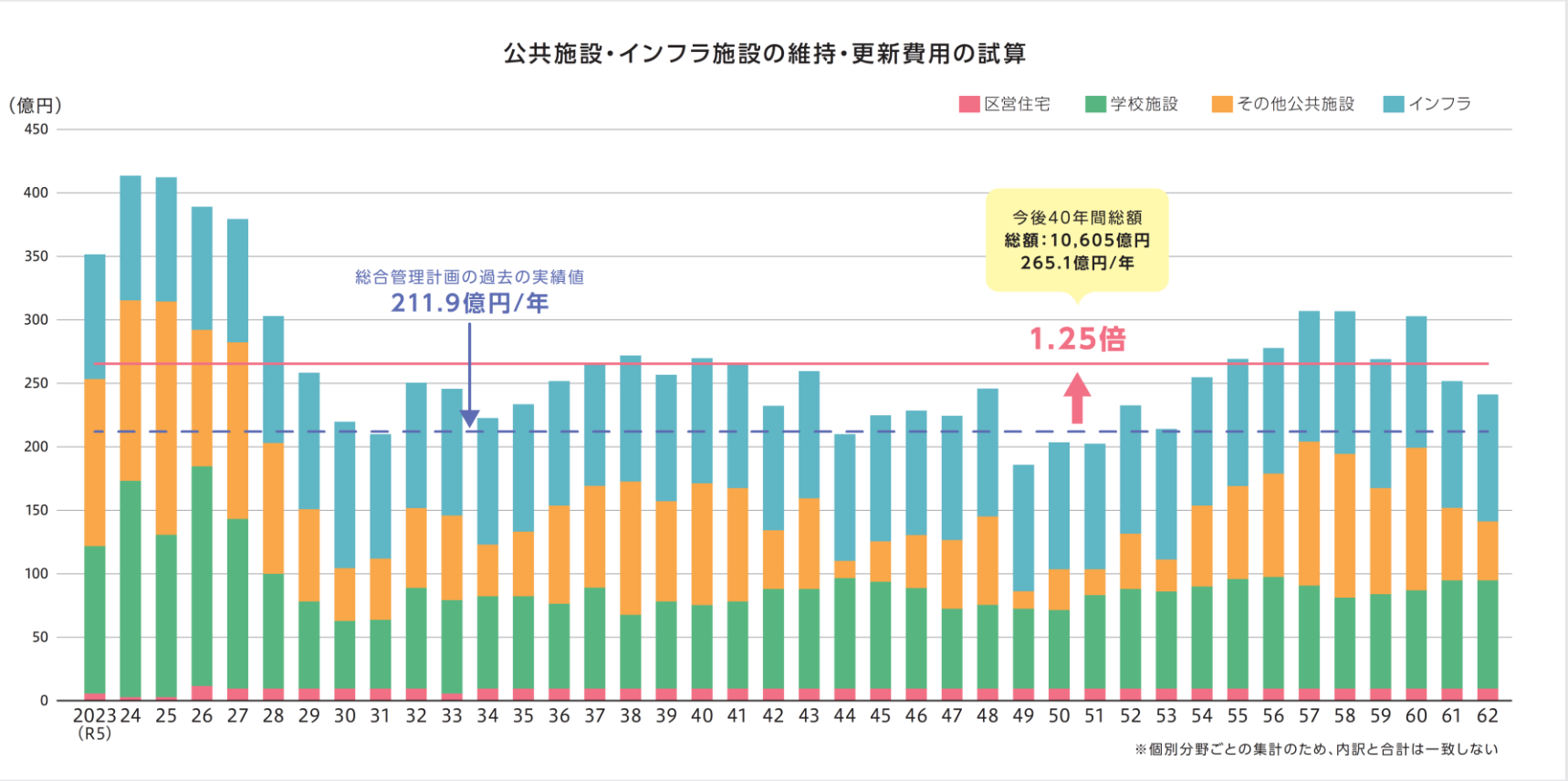
（資料）国土交通省「スーパー・メガリージョン構想検討会」資料を基に作成

データブック：P.62

公共施設の維持・更新やインフラ資産の整備等に係る費用は、今後増加することが見込まれる。

公共施設・インフラ施設の維持・更新費用は、今後40年間で10,605億円の支出が見込まれる

◎「大田区公共施設等総合管理計画」の過去の実績値は211.9億円/年であり、今後も長期的に公共施設等の維持・更新費用の増大が見込まれる。



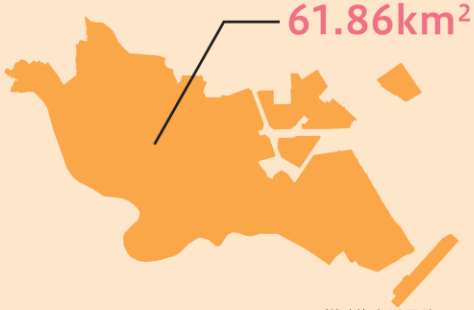
（資料）「大田区公共施設改築・改修等中期プラン」を基に作成

データブック：P.64

大田区ってどんなまち？

Ota City 面積

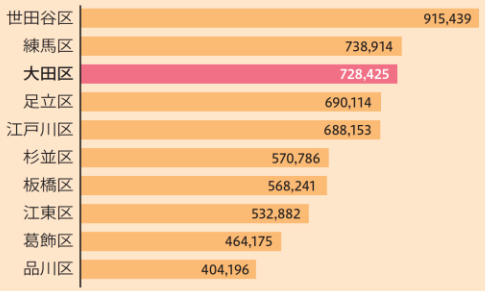
面積は23区で1位！



（資料）大田区政ファイル

Ota City 人口

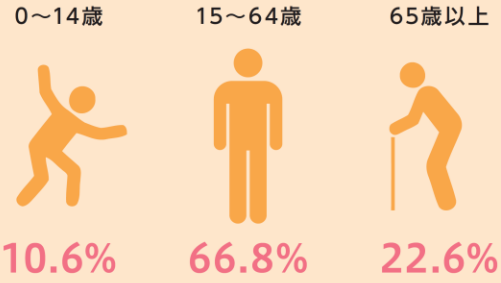
総人口は23区で3位!



（資料）東京都の統計HP（2022）

Ota City 年齢

大田区の年齢構成は・・・



（資料）区住民基本台帳データ（2022）

Ota City 外国人

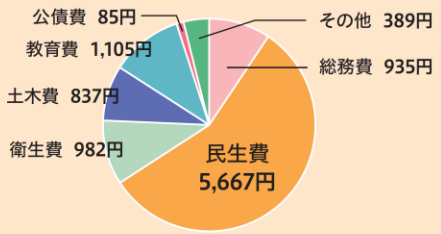
区民のおよそ30人に1人が外国人



※令和４年の外国人区民比率：3.44%　（資料）区住民基本台帳データ（2022）

Ota City 財政

区の歳出を1万円とすると・・・



最も大きい歳出は民生費5,667円

※令和３年度決算　（資料）OTAシティ・マネジメントレポート

Ota City 空港

世界と繋がる日本の玄関口、

羽田空港



データブック：P.65

Ota City
ものづくり

中小企業・町工場が集積



Ota City
商店街

商店街数は都内最多！



Ota City
新産業創造・発信拠点

新産業・イノベーションの拠点
「羽田イノベーションシティ」





Ota City
銭　湯

大田区の銭湯は都内最多！
「黒湯」が有名



Ota City
SDGs

2023年度、「SDGs未来都市」・
「自治体SDGsモデル事業」にW選定！



Ota City
大田区公式PRキャラクター



大田区の特徴である
羽田空港、桜、銭湯をPR

4章　特徴・強み、現状・課題（人口/交通）

データブック：P.66/70

	区の特徴や強みの一例	現状や課題の一例
人口	■大田区の**総人口は約73万人**で**23区で第3位** ■総人口は一時的に減少するものの、**2025年に再び増加に転じる。** ■**2040年まで人口は増加傾向**であり、その後は減少に転じるも、全国と比較すると**人口減少や高齢化の進展は緩やか** ■**20歳から24歳の世代は大きく転入超過**	■**合計特殊出生率は近年減少傾向** ■2035年ごろからは団塊ジュニアが高齢者となり、**少子高齢化が更に進行する。** ■0～4歳及び30～39歳の転出超過が顕著であり、**子育て世帯の転出超過がうかがえる。**
交通	■連続立体交差事業における踏切の解消により、**区内交通の利便性が向上した。** ■ＪＲ、東急線、京急線、東京モノレール、都営線など様々な鉄道路線により、**区内全域に鉄道ネットワークが構築されている。** ■**コミュニティサイクルは、ポート設置数の増加に伴い利用数も増加** ■自動車の保有台数が減少する一方、**カーシェアリング車両台数は増加**	■**鉄道駅の乗車人員は新型コロナの影響で大幅に減少** ■**多様な交通システムを活用し、残存する公共交通不便地域を解消していく必要**がある。

４章　特徴・強み、現状・課題（住まい/DX）

データブック：P.71/74

住まい

■世帯数は312,320件（2008年）から379,610件（2018年）まで増加したが、住宅数も357,800件（2008年）から427,580件（2018年）へ増加しており、**量的には充足している。**

■区内就業者数の割合は43.7%で23区で第３位となっており、昼夜間人口比率は96.5%であることから、**「職住近接」の傾向が強い。**

■**高齢単身世帯数は増加傾向**

■**空家件数は減少しているものの、適正に管理されていない空家は増加**

■**高齢者や外国人等の住宅確保要配慮者に対する支援**が必要である。

ＤＸ

■コロナ禍により、**テレワークやオンライン会議が浸透**するなど、デジタル技術の活用が進んだ。

■マイナポイント施策等を経て**マイナンバーカードの交付率は大きく上昇した。**

■2022年の**日本のデジタル競争力は過去最低の順位**となっており世界各国のDXに後れを取っている。

■**行政手続のオンライン化**は進んでいるものの、まだ**道半ば**

■手続がオンラインでできるにもかかわらず、手続の煩雑性や不安といった理由から**あえてオンライン以外の方法を選択**している区民が一定数いる。

4章　特徴・強み、現状・課題（自治体経営）

データブック：P.75



自治体経営

区の特徴や強みの一例

- 区の歳出総額に占める**民生費の割合は特別区で2位（令和3年度決算ベース）**
- **計画的に基金残高を確保**することで、一般財源の減収局面においても、基金を適切に活用し、安定的・継続的に行政サービスを提供してきた。
- **特別区債残高は、発行抑制や償還を進めることで着実に減少**しており、今後の公共施設等の維持・更新に備え発行余力を蓄えている。

現状や課題の一例

- 区の**経常収支比率は特別区平均より高い。**
- **公共施設の維持・更新やインフラ資産の整備に係る費用は、今後増加**することが見込まれる。

（2）**後半分野**（人口/交通/住まい/DX/自治体経営）
現構想の振り返りについて

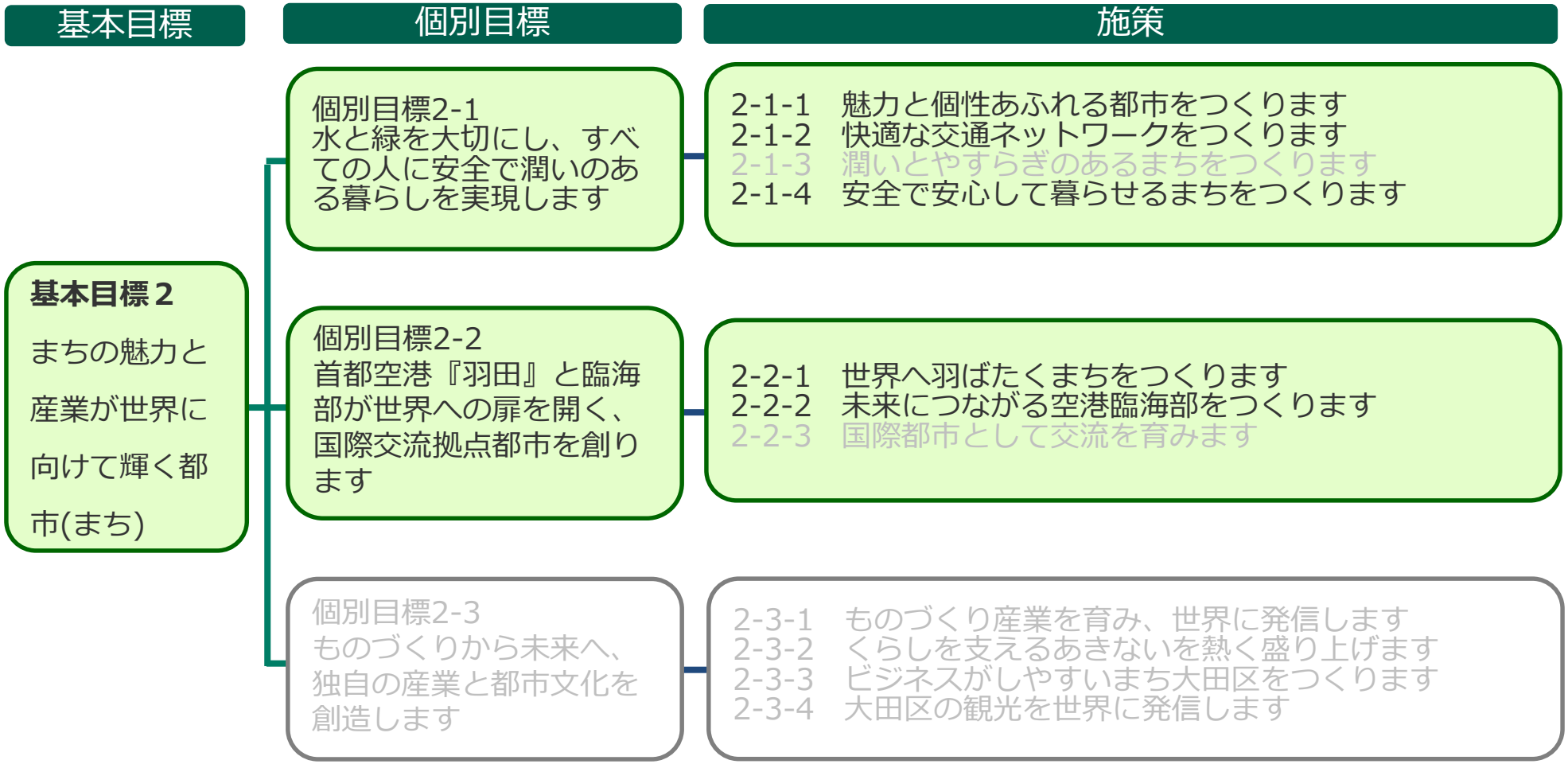
おおた未来プラン10年の振り返り

（人口/交通/住まい/DX/自治体経営に関連の強い部分）

おおた未来プラン10年（後期）における全体像

基本目標	個別目標	施策
基本目標１ 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち	個別目標1-1 未来を拓き地域を担う子どもを、みんなで育むまちにします	1-1-1　安心して子どもを産めるまちをつくります 1-1-2　子どもを健やかに育むまちをつくります 1-1-3　未来を担う子どもたちを育てます 1-1-4　のびのびと成長する子どもを見守ります
	個別目標1-2 誰もが自分らしく、健康で生きがいをもって暮らせるまちをつくります	1-2-1　誰もが健康に暮らせるまちをつくります 1-2-2　ユニバーサルデザインのまちづくりを進めます 1-2-3　障がい者が地域で安心して暮らせるまちをつくります 1-2-4　生きがいと誇りをもって暮らせるまちをつくります 1-2-5　スポーツ健康都市宣言にふさわしい、スポーツを通じて健康で豊かに暮らせるまちをつくります 1-2-6　安定した暮らしと人権を守ります
	個別目標1-3 高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちをつくります	1-3-1　高齢者がいきいきと暮らせるまちをつくります 1-3-2　高齢者が地域で包括的なケアを受け、安心して暮らせるまちをつくります 1-3-3　いざというときに高齢者を支える体制をつくります

おおた未来プラン10年（後期）における全体像



おおた未来プラン10年（後期）における全体像

基本目標	個別目標	施策
基本目標3 地域力と行政の連携がつくる人と地球に優しいまち	個別目標3-1 地域力を活かし、人に優しいまちを区民主体で実現します	3-1-1　地域力の土台づくりを進めます 3-1-2　地域力を活かした取り組みを進めます 3-1-3　誰もが暮らしやすい地域をつくります 3-1-4　地域文化の創造とふれあいづくりを進めます 3-1-5　地域力を活かし、災害に強いまちづくりを進めます 3-1-6　地域力を活かし、防犯に強いまちづくりを進めます
	個別目標3-2 私たち区民が、良好な環境と経済活動が両立する持続可能なまちをつくる担い手です	3-2-1　地球環境をみんなで守り未来へ引き継ぎます 3-2-2　水と緑を感じるまちをつくります 3-2-3　ごみのない循環のまちをつくります
	個別目標3-3 区は、効率的で活力ある区政を実現し、地域との連携・協働を進めます	3-3-1　行政力を最大限に発揮できる体制をつくります 3-3-2　透明性が高く、区民の多様な意見を活かす区役所をつくります 3-3-3　地域力を支える区役所をつくります

目標値一覧（モノサシ指標）

個別目標	施策番号	モノサシ指標　（★・・・再掲のモノサシ指標）	H30	目標値	達成度
1-1	1-1-1	妊娠11週以内に妊娠届出をした割合	94.1%	100%	94.1%
		すこやか赤ちゃん訪問事業の実施率	92.4%	100%	92.4%
1-1	1-1-2	子育て環境に対する満足度	46.7%	50%	93.4%
		保育所入所率	98.4%	100%	98.4%
		保育サービス定員数（人）	15,338	12,443	123.3%
		ファミリーサポート延べ利用者数（人）	13,193	12,200	108.1%
1-1	1-1-3	大田区学習効果測定【中３数学、期待正答率を超えた生徒の割合】	64.5%	62%	104.0%
		不登校生徒出現率【中学校】	4.22%	2.88%	68.2%
		体力合計点【小６男女】	男子：60.31 女子：61.65	男子：61.01 女子：61.59	男子：98.9% 女子：100.1%
1-1	1-1-4	児童館ファミリールーム利用者数（人）	534,329	463,000	115.4%
		子ども家庭支援センターの相談件数	11,992	4,900	244.7%
1-2	1-2-1	65歳健康寿命(歳)　※最新値：H29	男性：82.28 女性：85.54	男性：82.26 女性：85.36	男性：100.0% 女性：100.2%
		特定健康診査受診率	36.6%	44%	83.2%
1-2	1-2-2	「ユニバーサルデザイン」という言葉を知っている、または聞いたことがあると答えた区民の割合	78.0%	80%	97.5%
		駅周辺のバリアフリー化が進んだと感じる区民の割合★	46.4%	40%	116.0%
		だれでもトイレの設置割合	85.1%	95.9%	88.7%

目標値一覧（モノサシ指標）

個別目標	施策番号	モノサシ指標　（★・・・再掲のモノサシ指標）	H30	目標値	達成度
1-2	1-2-3	障害福祉サービス等利用者の満足度	61.8%　※H28	75%	82.4%
		就労支援ネットワークからの年間就職者（人）	119	90	132.2%
		だれでもトイレの設置割合★	85.1%	95.9%	88.7%
1-2	1-2-4	区民１人あたりの図書館の貸出点数	8.1	10.4	77.9%
		週１回以上スポーツ活動をしている区民の割合★	47.6%	65%	73.2%
		区民活動情報サイト登録数（団体）★	704	590	119.3%
		区民活動情報サイトへのアクセス件数★	46,670	36,580	127.6%
1-2	1-2-5	65歳健康寿命（歳）★　※最新値：H29	男性：82.28 女性：85.54	男性：82.26 女性：85.36	男性：100.0% 女性：100.2%
		週１回以上スポーツ活動をしている区民の割合	47.6%	65%	73.2%
1-2	1-2-6	職場における男女の地位が平等であると答えた区民の割合	男性：35.7% 女性：28.7%	男性：32% 女性：22%	男性：111.6% 女性：130.5%
		成年後見制度を知っている区民の割合★	32.6%	36%	90.6%
		子ども家庭支援センターの相談件数★	11,992	4,900	244.7%
1-3	1-3-1	要介護認定を受けていない高齢者（65歳以上75歳未満）の割合	95.47%	95.70%	99.8%
		ボランティアなど地域や地域の人を支える活動に参加している高齢者の割合	18.3%	15%	122.0%
		何らかの収入を得る仕事をしている高齢者の割合	37.4%	45%	83.1%
1-3	1-3-2	居宅サービス利用者のうちケアプランに満足している人の割合　※最新値：H28	67.0%	75%	89.3%
		地域包括支援センター（さわやかサポート）を知っている区民の割合	29.4%	40%	73.5%
		介護保険施設等の入所定員数（人）	3,209	3,300	97.2%

目標値一覧（モノサシ指標）

個別目標	施策番号	モノサシ指標　（★・・・再掲のモノサシ指標）	H30	目標値	達成度
1-3	1-3-3	災害時要援護者である高齢者を支援する組織が設置されている自治会・町会の割合	51%	50%	102.0%
		成年後見制度を知っている区民の割合	32.6%	36%	90.6%
2-1	2-1-1	区内人口の社会増減率（%）（H20.1.1基準）	44.68	18	248.2%
		住んでいるまちが魅力的であると感じる区民の割合	66.6%	64%	104.1%
2-1	2-1-2	区内の通勤・通学の便に満足している区民の割合	72.8%	80%	91.0%
		放置自転車台数	1,177	2,280	193.7%
2-1	2-1-3	身近な場所で水や緑に親しめると思う区民の割合	50.0%	60%	83.3%
		「緑の多さに満足している」と答えた区民の割合★	58.6%	63%	93.0%
		公園の新設、拡張整備面積累計（ha）	15.16	13.2	114.8%
2-1	2-1-4	大田区内の耐震化率	89.0%（参考値）	90%超	98.9%
		駅周辺のバリアフリー化が進んだと感じる区民の割合	46.4%	40%	116.0%
		東京都防災都市づくり推進計画の整備地域における不燃領域率　※最新値（参考値）：H29	大森中：64.8% 羽田：50.8% 西蒲田：65.9%	大森中：70%超 羽田：60%超 西蒲田：70%超	大森中：92.6% 羽田：84.7% 西蒲田：94.1%
		「ユニバーサルデザイン」という言葉を知っている、または聞いたことがあると答えた区民の割合★	78.0%	80%	97.5%
2-2	2-2-1	臨海部に立地する事業所数★　※最新値：H28	2,231	2,300	97.0%
		羽田空港及び空港跡地が地域経済の発展に貢献すると感じる区民の割合	51.9%	55%	94.4%
		空港臨海部が身近になったと感じる区民の割合★	27.2%	40%	68.0%
		羽田空港跡地第１ゾーンの整備進捗率	80%	80%	100.0%

目標値一覧（モノサシ指標）

個別目標	施策番号	モノサシ指標　（★・・・再掲のモノサシ指標）	H30	目標値	達成度
2-2	2-2-2	臨海部（平和島・昭和島・京浜島・東海・城南島・羽田空港）に立地する事業所数　※最新値：H28	2,231	2,300	97.0%
		空港臨海部が身近になったと感じる区民の割合★	27.2%	40%	68.0%
2-2	2-2-3	大田区の外国人延べ宿泊者数（万人）	34.9	15	232.7%
		国際交流団体の登録数	56	78	71.8%
		大田観光協会ホームページの年間アクセス件数（ページビュー数）（万件）★	127	180	70.6%
2-3	2-3-1	製造品出荷額等（億円）　※最新値：H28	4,019	5,000	80.4%
		新製品・新技術開発助成（実用化・製品化助成）を受けた企業のうち展示会出展または取引につながった企業の割合	95.65%	100%	95.7%
		大田区内の従業者数（人）★　※最新値：H28	349,551	361,000	96.8%
		新設事業所数（累計）★　※最新値：H28	4,930	6,180	79.8%
2-3	2-3-2	区内小売業の年間商品販売額（億円）　※最新値：H28	6,826	5,230	130.5%
2-3	2-3-3	大田区内の従業者数（人）　※最新値：H28	349,551	361,000	96.8%
		新設事業所数（累計）　※最新値：H28	4,930	6,180	79.8%
2-3	2-3-4	区内宿泊施設の宿泊者数（万人） ①延宿泊者数、②そのうち外国人	①143.0 ②34.9	①130 ②15	①110.0% ②232.7%
		大田区観光協会ホームページの年間アクセス数（ページビュー数）（万件）	127	180	70.6%
3-1	3-1-1	「自治会・町会の会合など地域活動に参加したことがある」と答えた区民の割合	71.7%	75%	95.6%
		大田区区民活動情報サイト登録数（団体）	704	590	119.3%
		大田区区民活動情報サイトへのアクセス件数	46,670	36,580	127.6%

目標値一覧（モノサシ指標）

個別目標	施策番号	モノサシ指標　（★・・・再掲のモノサシ指標）	H30	目標値	達成度
3-1	3-1-2	自治会・町会や団体・NPOが区の取組みにより他の団体等と連携して実施した事業数	52	52	100.0%
		自治会・町会への加入率	65.8%	76%	86.6%
		「自治会・町会の会合など地域活動に参加したことがある」と答えた区民の割合★	71.7%	75%	95.6%
		大田区区民活動情報サイト登録数（団体）★	704	590	119.3%
		大田区区民活動情報サイトへのアクセス件数★	46,670	36,580	127.6%
3-1	3-1-3	現在住んでいるまちが「暮らしやすいと感じている」と回答した区民の割合	76.4%	87%	87.8%
		国際交流団体の登録数（団体）★	56	78	71.8%
		ボランティア活動に参加している区民の割合	17.4%	10%	174.0%
		大田区の外国人延べ宿泊者数（万人）★	34.9	15	232.7%
3-1	3-1-4	大田区の主な文化関連施設の利用・入場者数（万人）（延べ）	126	174	72.4%
		大田区文化祭、文化センターまつり、区民ギャラリーに出場・出典した人数（延べ）	15,014	13,600	110.4%
3-1	3-1-5	防災市民組織が設置されている自治会・町会の割合	99.0%	100%	99.0%
		東京都防災都市づくり推進計画の整備地域における不燃領域率★　※最新値（参考値）：H29	大森中：64.8% 羽田：50.8% 西蒲田：65.9%	大森中：70%超 羽田：60%超 西蒲田：70%超	大森中：92.6% 羽田：84.7% 西蒲田：94.1%
		大田区内の耐震化率★	89.0%（参考値）	90%超	98.9%
		学校防災活動拠点校整備数（校）	91	91	100.0%
		区民安全・安心メール登録者数（人）★	71,261	60,000	118.8%

目標値一覧（モノサシ指標）

個別目標	施策番号	モノサシ指標　（★・・・再掲のモノサシ指標）	H30	目標値	達成度
3-1	3-1-6	現在住んでいるまちが「暮らしやすいと感じている」と回答した区民の割合★	76.4%	87%	87.8%
		ボランティア活動に参加している区民の割合★	17.4%	10%	174.0%
		区民安全・安心メール登録者数（人）	71,261	60,000	118.8%
		地域安全・安心パトロール助成団体数	292	315	92.7%
		街頭防犯カメラ整備数	地区：81 台数：1,134	地区：30 台数：600	地区：270.0% 台数：189.0%
3-2	3-2-1	大田区の二酸化炭素排出量(千ｔ/年)	3,027	2,322	76.7%
		大田区のエネルギー消費量(ＴＪ/年)	31,679	31,799	100.4%
		太陽光発電設置実績件数	3,995	3,000	133.2%
3-2	3-2-2	緑被率	18.3%	20.9%	87.7%
		「緑の多さに満足している」と答えた区民の割合	58.6%	63%	93.0%
		身近な場所で水や緑に親しめると思う区民の割合★	50.0%	60%	83.3%
		呑川のＢＯＤ（生物化学的酸素要求量）	島畑橋：2.9mg/Ｌ 谷築橋：1.4mg/Ｌ 旭橋：2.0mg/Ｌ	環境基準 8mg/Ｌ以下	畑橋：275.9% 谷築橋：571.4% 旭橋：400.0%
		公園の新設、拡張整備面積累計（ha）★	15.16	13.2	114.8%
3-2	3-2-3	区収集ごみ量（万ｔ）	13.2	12.2	92.4%
		リサイクル率	22.2%	30%	74.0%

目標値一覧（モノサシ指標）

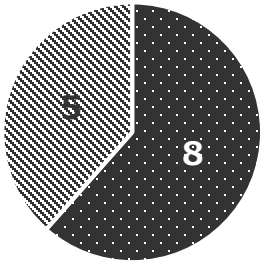
個別目標	施策番号	モノサシ指標　（★・・・再掲のモノサシ指標）	H30	目標値	達成度
3-3	3-3-1	経常収支比率	83.1%	80%	96.3%
		基本計画で設定したモノサシ（指標）の目標に到達した割合	44.2%	100%	44.2%
3-3	3-3-2	「区政情報が適切に公開されている」と答えた区民の割合	32.6%	46%	70.9%
3-3	3-3-3	地域活動にインターネットを活用している自治会・町会の割合	23.5%	50%	47.0%
		自治会・町会や団体・NPOが区の取組みにより他の団体等と連携して実施した事業数★	52	52	100.0%
		自治会・町会への加入率★	65.8%	76%	86.6%
		地域力推進委員会分科会の開催回数	185	125	148.0%

施策のめざす姿の達成度評価

A・・・施策のめざす姿をおおむね達成
B・・・施策のめざす姿に相当程度進展あり
C・・・施策のめざす姿に大きな進展がない（該当なし）

※ 令和元年11月８日（金）開催の第１回大田区新基本計画策定懇談会資料の内容より抜粋

基本目標1　生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち



■ A（61.54%）　▨ B（38.46%）

	個別目標1-1	個別目標1-2	個別目標1-3
Aの件数	3	2	3
Bの件数	1	4	0
Aの割合	**75%**	**33.33%**	**100%**

基本目標１の施策の評価

2-1　誰もが健康に暮らせるまちをつくります：B
2-2　ユニバーサルデザインのまちづくりを進めます：B
2-3　障がい者が地域で安心して暮らせるまちをつくります：A
2-4　生きがいと誇りをもって暮らせるまちをつくります：B
2-5　スポーツ健康都市宣言にふさわしい、スポーツを通じて健康で豊かに暮らせるまちをつくります：B
2-6　安定した暮らしと人権を守ります：A

主な成果（概要）

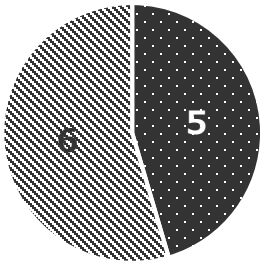
- ユニバーサルデザインの普及啓発や、障がい者総合サポートセンターの開設等、誰もが安心して暮らせるまちづくりに向けた取り組みを進めた。

施策のめざす姿の達成度評価

A・・・施策のめざす姿をおおむね達成
B・・・施策のめざす姿に相当程度進展あり
C・・・施策のめざす姿に大きな進展がない（該当なし）

※ 令和元年11月８日（金）開催の第１回大田区新基本計画策定懇談会資料の内容より抜粋

基本目標２　まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市(まち)



■ A（45.45%）　▨ B（54.55%）

	個別目標2-1	個別目標2-2	個別目標2-3
Aの件数	3	1	1
Bの件数	1	2	3
Aの割合	**75%**	**33.33%**	**25%**

基本目標２の施策の評価

1-1　魅力と個性あふれる都市をつくります：A
1-2　快適な交通ネットワークをつくります：A
1-3　潤いとやすらぎのあるまちをつくります：B
1-4　安全で安心して暮らせるまちをつくります：A
2-1　世界へ羽ばたくまちをつくります：A
2-2　未来につながる空港臨海部をつくります：B
2-3　国際都市として交流を育みます：B

主な成果（概要）

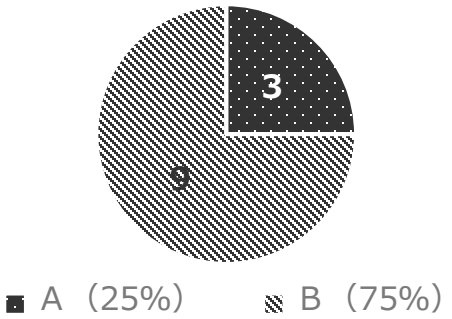
- 駅周辺地域開発の検討を進め、質の高い都市の実現に向けた取り組みを加速した。
- 自転車等駐車場の改良や啓発活動により、放置自転車台数が大幅に減少した。
- 羽田空港跡地第１ゾーン整備事業（第一期事業）の施設整備工事に着工した。

施策のめざす姿の達成度評価

A・・・施策のめざす姿をおおむね達成
B・・・施策のめざす姿に相当程度進展あり
C・・・施策のめざす姿に大きな進展がない（該当なし）

※ 令和元年11月８日（金）開催の第１回大田区新基本計画策定懇談会資料の内容より抜粋

基本目標３　地域力と行政の連携がつくる人と地球に優しいまち



	個別目標3-1	個別目標3-2	個別目標3-3
Aの件数	2	1	0
Bの件数	4	2	3
Aの割合	**33.33%**	**33.33%**	**0%**

基本目標３の施策の評価

3-1　行政力を最大限に発揮できる体制をつくります：B
3-2　透明性が高く、区民の多様な意見を活かす区役所をつくります：B
3-3　地域力を支える区役所をつくります：B

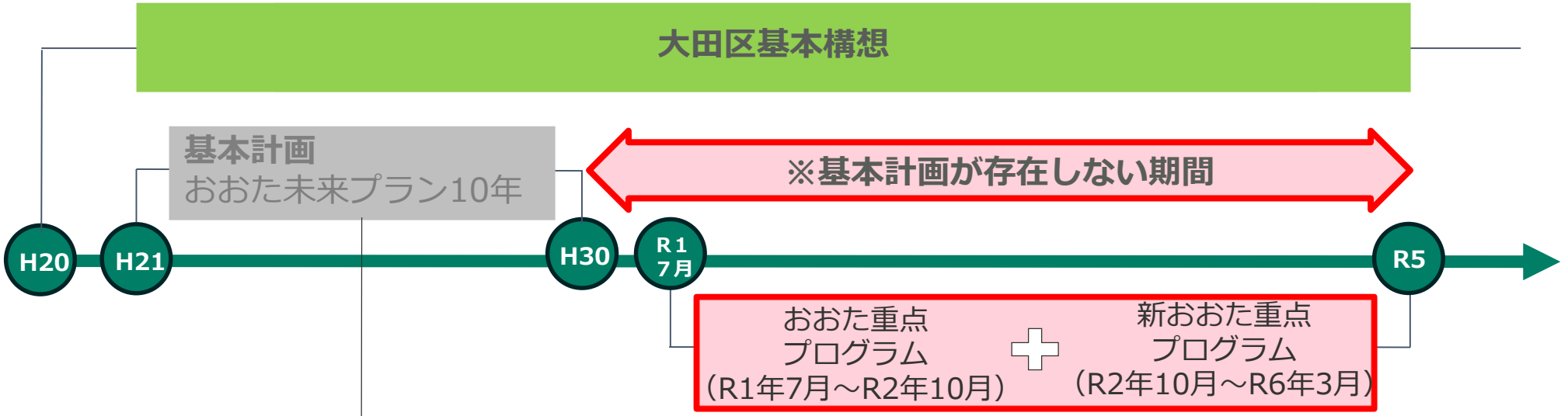
主な成果（概要）

- 大田区スマートワーク宣言などの取り組みにより大田区版働き方改革を推進した。
- 区民意識調査を開始し、より多面的な区民意見の反映を図った。
- 特別出張所の改築、複合化により地域力の拠点としての機能が強化された。

新おおた重点プログラムの振り返り

（人口/交通/住まい/DX/自治体経営に関連の強い部分）

現基本構想下の計画等



・令和元年7月に大田区新基本計画策定懇談会を設置

・令和元年11月８日（金）開催の第１回大田区新基本計画策定懇談会において、おおた未来プラン10年の達成度評価を行った。

新おおた重点プログラムの全体像

将来像	基本目標	個別目標	施策
地域力が区民の暮らしを支え、未来へ躍動する国際都市　おおた	**基本目標１** 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち	個別目標1-1 未来を拓き地域を担う子どもを、みんなで育むまちにします	1-1-1　安心して子どもを産み育てられるまちをつくります 1-1-2　子どもを健やかに育む場を整備します 1-1-3　豊かな人間性をはぐくみ、未来を創る子どもを育成します
		個別目標1-2 誰もが自分らしく、健康で生きがいをもって暮らせるまちをつくります	1-2-1　健康に暮らせるまちをつくります 1-2-2　誰もが社会的包摂の中で、安心して暮らせるまちをつくります 1-2-3　学びやスポーツを通じて、誰もが生きがいをもって暮らせるまちをつくります
		個別目標1-3 高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちをつくります	1-3-1　高齢者の安全・安心な暮らしと活躍を支えます
	基本目標２ まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市(まち)	個別目標2-1 水と緑を大切にし、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します	2-1-1　魅力と個性にあふれ、利便性が高く賑わいと活力あるまちをつくります 2-1-2　身近な場所で水やみどりと触れ合える、潤いとやすらぎのあるまちをつくります 2-1-3　災害に強く、安全で安心して暮らせるまちをつくります
		個別目標2-2 首都空港『羽田』と臨海部が世界への扉を開く、国際交流拠点都市を創ります	2-2-1　空港臨海部の特性を活かし、世界にはばたき未来へつながるまちをつくります 2-2-2　「国際都市おおた」の推進により、持続可能な国際交流・多文化共生を育みます
		個別目標2-3 ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します	2-3-1　地域に好循環をもたらす、大田区ならではの産業の発展を支援します 2-3-2　大田区の魅力を国内外にアピールします
	基本目標３ 地域力と行政の連携がつくる人と地球に優しいまち	個別目標3-1 地域力を活かし、人に優しいまちを区民主体で実現します	3-1-1　地域力を結集し、魅力的で住み続けたいまちをつくります 3-1-2　地域力を最大限発揮して、災害に強く、防犯力の高い地域をつくります
		個別目標3-2 私たち区民が、良好な環境と経済活動が両立する持続可能なまちをつくる担い手です	3-2-1　持続可能な地球環境をみんなで守り、未来へ引き継ぎます
		個別目標3-3 区は、効率的で活力ある区政を実現し、地域との連携・協働を進めます	3-3-1　質の高い区民サービスを提供する、持続可能な区役所をつくります

現在大田区が取り組んでいる主な施策・事業

施策１-２-２

誰もが社会的包摂の中で、安心して暮らせるまちをつくります

No.	事業名
1	障がい者総合サポートセンター（さぽーとぴあ）の運営・充実（自立支援協議会との連携　等）
2	地域生活支援拠点等の機能の充実（緊急時の受入体制の充実、居住の場の確保・充実　等）
3	精神障がい者に対する支援の充実（アウトリーチ支援、措置入院者等退院後支援　等）
4	複合課題を抱える世帯への包括的支援（重層的支援体制整備事業の構築　等）
5	福祉人材の確保・育成・定着（育成のための研修、おおた福祉フェスの実施　等）
6	ユニバーサルデザインに配慮したサービス等の改善（案内誘導サイン整備ガイドライン　等）
7	だれもが円滑に移動できるまちづくり（大田区移動等円滑化の推進　等）
8	生活困窮者自立支援事業の実施（自立相談支援事業、学習支援事業　等）
9	生きづらさを抱える人への支援（自殺防止相談事業、ひきこもりの方への支援の充実　等）
10	大田区子ども・若者総合相談体制及び居場所の整備（居場所を通じた自立支援　等）
11	多様な人々が活躍できるまちづくり（ワーク・ライフ・バランスの啓発、女性の就労支援　等）

現在大田区が取り組んでいる主な施策・事業

施策２-１-１

魅力と個性にあふれ、利便性が高く賑わいと活力あるまちをつくります

No.	事業名
1	蒲田駅周辺のまちづくり（蒲田駅周辺再編プロジェクトの推進、駅周辺街区のまちづくり　等）
2	大森駅周辺のまちづくり（駅西側周辺のまちづくり、駅周辺の活性化　等）
3	身近な地域の魅力づくり（池上駅・洗足池駅周辺地区グランドデザインの推進　等）
4	20年後の未来を見据えた都市づくりの推進（大田区都市計画マスタープランの推進　等）
5	大田区交通政策基本計画の推進（公共交通不便地域の解消に向けた実証実験　等）
6	新空港線の整備推進（関係者との協議及び事業推進　等）
7	都市計画道路の整備（補助第27・34・38・43・44号線　等）
8	自転車等利用総合対策の推進（放置自動車対策の推進、コミュニティサイクル事業　等）

現在大田区が取り組んでいる主な施策・事業

施策２-１-３

災害に強く、安全で安心して暮らせるまちをつくります

No.	事業名
1	倒れないまちづくりの推進（耐震化の促進　等）
2	燃えないまちづくりの推進（不燃化の促進　等）
3	がけ崩れ災害の防止（がけ等整備工事助成、がけ等アドバイザー派遣　等）
4	地域の道路整備（狭あい道路拡幅整備事業の推進、私道助成事業の推進　等）
5	大田区住宅マスタープランの推進（空家等対策の推進、住宅確保要配慮者への支援　等）
6	無電柱化の推進（無電柱化の整備　等）
7	橋梁の耐震性の向上（架替え整備、耐震補強整備　等）
8	都市基盤施設の維持管理の推進（橋梁の補修、道路の維持管理　等）
9	交通安全の推進（ルール・マナーの教育・啓発、交通安全環境の整備　等）

現在大田区が取り組んでいる主な施策・事業

施策２-２-１

空港臨海部の特性を活かし、世界にはばたき未来へつながるまちをつくります

No.	事業名
1	HANEDA GLOBAL WINGSのまちづくり （羽田イノベーションシティにおける公民連携事業の推進　等）
2	空港臨海部の魅力向上と活性化（モノレール沿線のまちづくり、埋立島部のまちづくり　等）
3	空港臨海部交通ネットワークの拡充（空港臨海部道路網の計画検討・整備促進　等）

現在大田区が取り組んでいる主な施策・事業

施策３-３-１

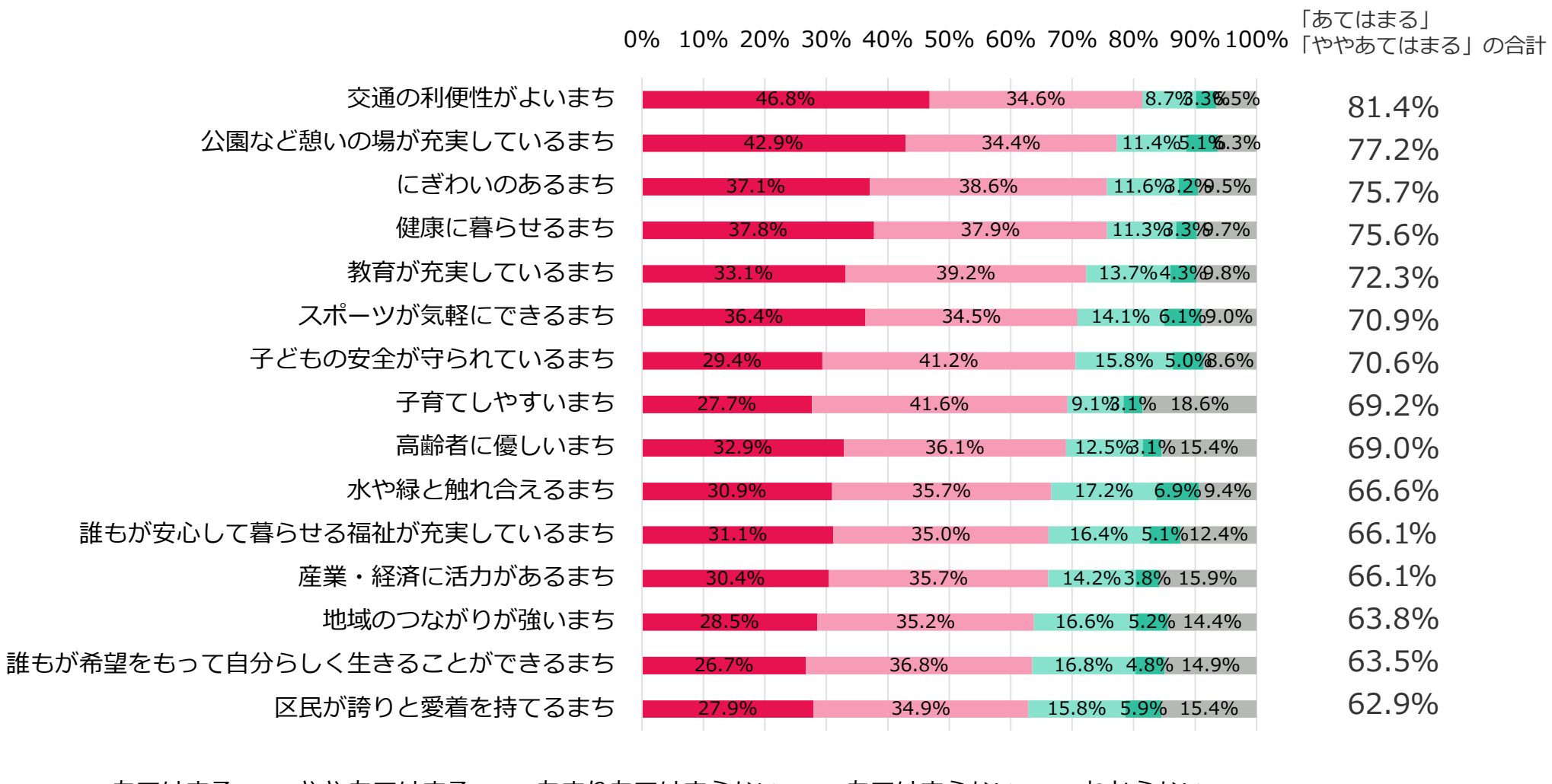
質の高い区民サービスを提供する、持続可能な区役所をつくります

No.	事業名
1	区政情報発信の充実（多様な媒体による情報発信　等）
2	多様な主体との連携・協働による区民サービスの向上（公民連携の推進　等）
3	信頼される行財政運営の推進（働き方改革の推進、SDGｓの推進　等）
4	職員能力の強化（職員の災害対応力強化、誰もが活躍できる職場づくりとキャリア形成の支援　等）
5	公共施設マネジメントの推進（関連計画の整備、複合施設の整備　等）
6	自治体DX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進 （内部事務の電子化による業務効率化、デジタル人材の育成　等）

アンケート結果

Q2-①　今の大田区はどんなまちだと思いますか。（あてはまるものを１つ選択）

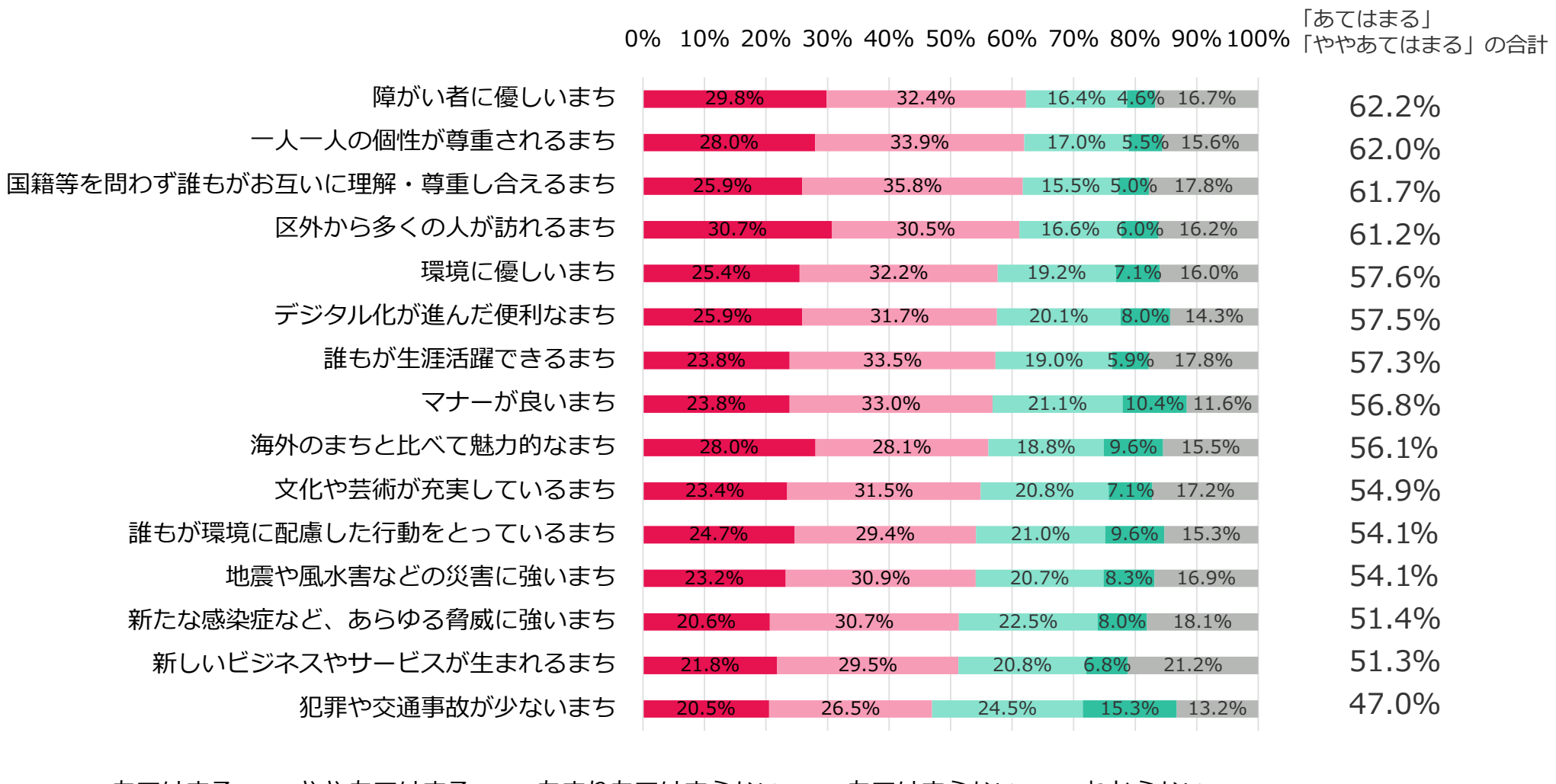
今の各まちの姿の結果①（上位15項目）



アンケート結果

Q2-①　今の大田区はどんなまちだと思いますか。（あてはまるものを１つ選択）

今の各まちの姿の結果①（下位15項目）



アンケートと新おおた重点プログラムの関係

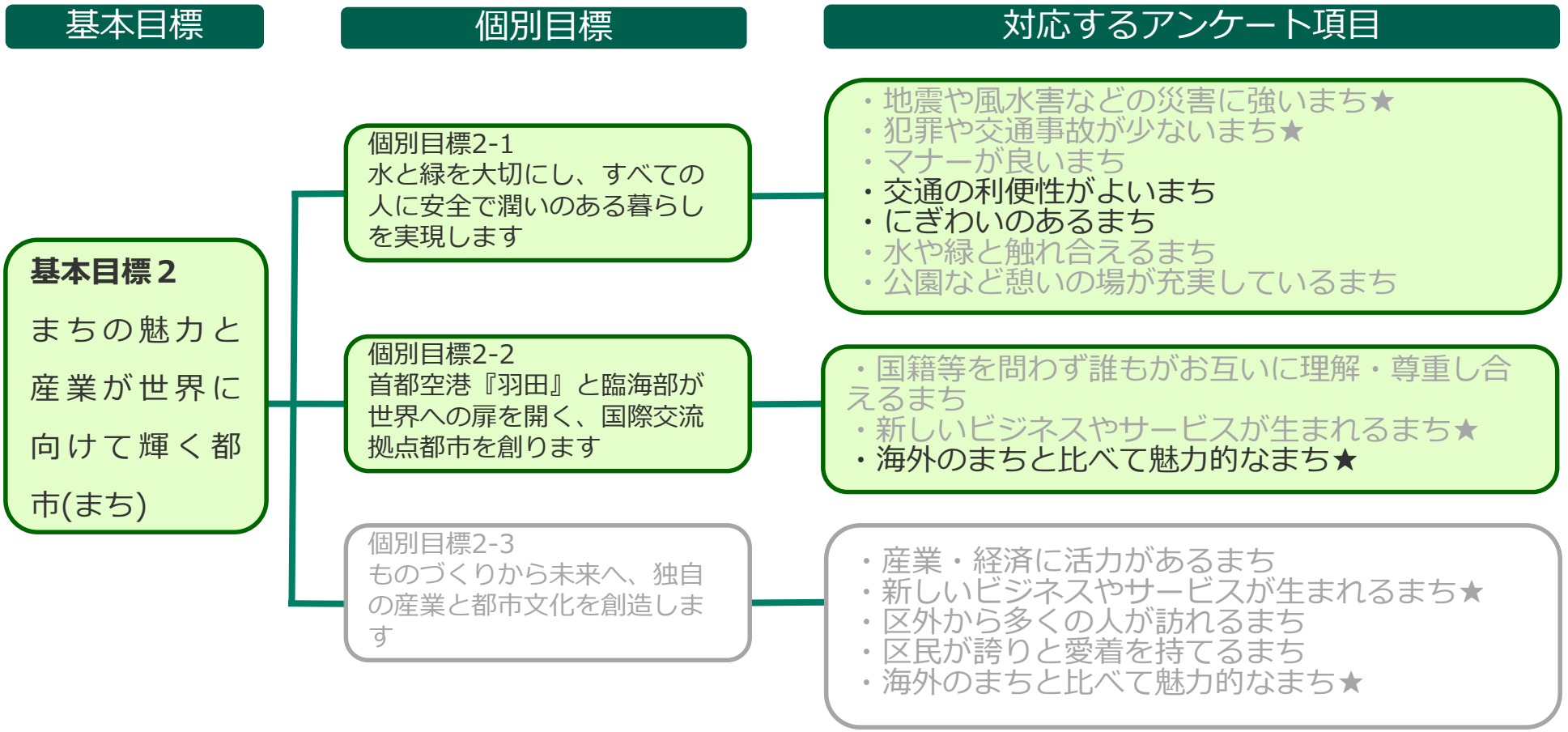
新重プロ施策番号	まちの姿
1-1-1 1-1-2	子育てしやすいまち
1-1-1	子どもの安全が守られているまち
1-1-3	教育が充実しているまち
1-2-2	誰もが希望をもって自分らしく生きることができるまち
1-2-2 1-3-1	高齢者に優しいまち
1-2-2 1-2-3	誰もが生涯活躍できるまち
1-2-2	障がい者に優しいまち
1-2-2	一人一人の個性が尊重されるまち
1-2-2	誰もが安心して暮らせる福祉が充実しているまち
1-2-1	健康に暮らせるまち
1-2-3	スポーツが気軽にできるまち
2-1-3 3-1-2	地震や風水害などの災害に強いまち
1-2-1 3-1-2	新たな感染症など、あらゆる脅威に強いまち
2-1-3 3-1-2	犯罪や交通事故が少ないまち
2-1-3	マナーが良いまち

新重プロ施策番号	まちの姿
2-1-1	交通の利便性がよいまち
2-1-1	にぎわいのあるまち
2-1-2	水や緑と触れ合えるまち
2-1-2	公園など憩いの場が充実しているまち
3-1-1 3-1-2	地域のつながりが強いまち
3-1-1 3-3-1	デジタル化が進んだ便利なまち
2-2-2	国籍等を問わず誰もがお互いに理解・尊重し合えるまち
2-3-1	産業・経済に活力があるまち
2-2-1 2-3-1	新しいビジネスやサービスが生まれるまち
1-2-3	文化や芸術が充実しているまち
2-3-2	区外から多くの人が訪れるまち
2-3-2	区民が誇りと愛着を持てるまち
3-2-1	環境に優しいまち
3-2-1	誰もが環境に配慮した行動をとっているまち
2-2-1 2-3-1	海外のまちと比べて魅力的なまち

アンケートと新おおた重点プログラムの関係

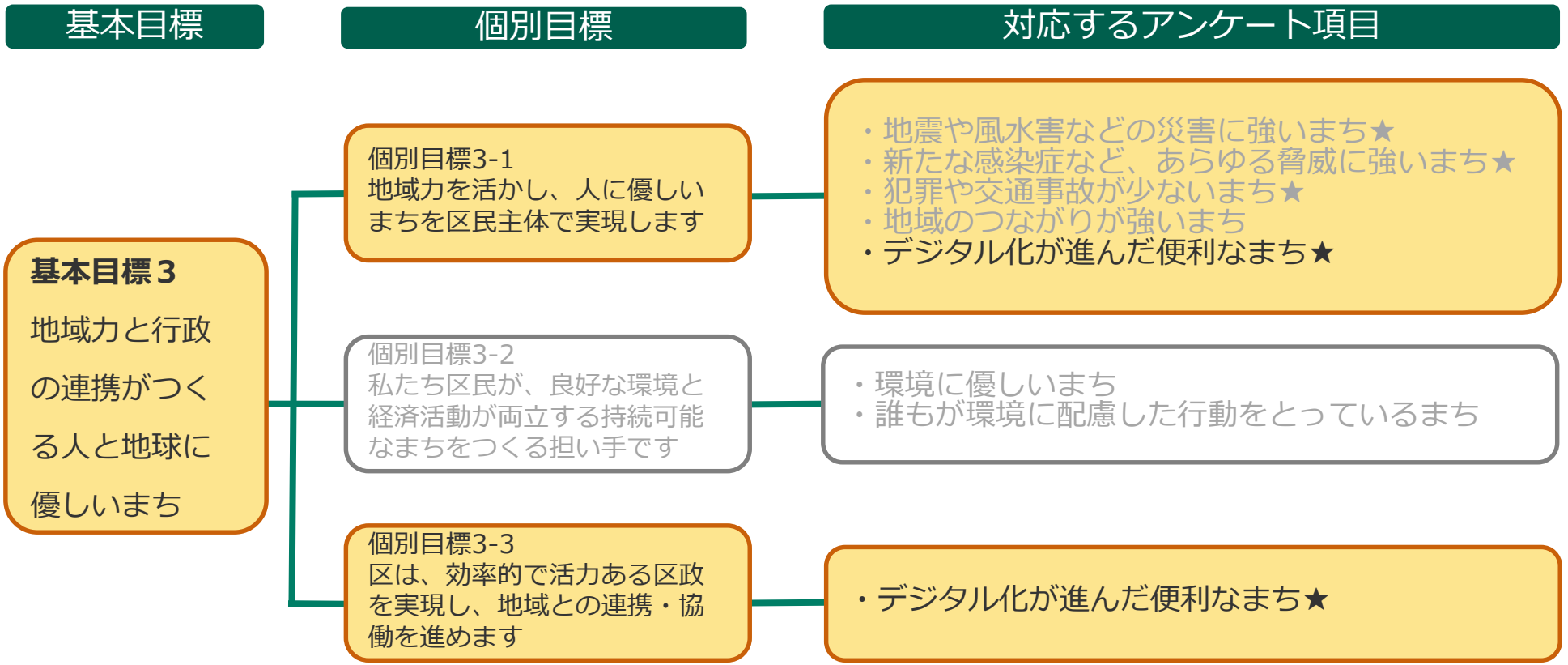
将来像	基本目標	個別目標	施策
地域力が区民の暮らしを支え、未来へ躍動する国際都市　おおた	**基本目標１** 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち	個別目標1-1 未来を拓き地域を担う子どもを、みんなで育むまちにします	1-1-1　安心して子どもを産み育てられるまちをつくります 1-1-2　子どもを健やかに育む場を整備します 1-1-3　豊かな人間性をはぐくみ、未来を創る子どもを育成します
		個別目標1-2 誰もが自分らしく、健康で生きがいをもって暮らせるまちをつくります	1-2-1　健康に暮らせるまちをつくります 1-2-2　誰もが社会的包摂の中で、安心して暮らせるまちをつくります 1-2-3　学びやスポーツを通じて、誰もが生きがいをもって暮らせるまちをつくります
		個別目標1-3 高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちをつくります	1-3-1　高齢者の安全・安心な暮らしと活躍を支えます
	基本目標２ まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市(まち)	個別目標2-1 水と緑を大切にし、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します	2-1-1　魅力と個性にあふれ、利便性が高く賑わいと活力あるまちをつくります 2-1-2　身近な場所で水やみどりと触れ合える、潤いとやすらぎのあるまちをつくります 2-1-3　災害に強く、安全で安心して暮らせるまちをつくります
		個別目標2-2 首都空港『羽田』と臨海部が世界への扉を開く、国際交流拠点都市を創ります	2-2-1　空港臨海部の特性を活かし、世界にはばたき未来へつながるまちをつくります 2-2-2　「国際都市おおた」の推進により、持続可能な国際交流・多文化共生を育みます
		個別目標2-3 ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します	2-3-1　地域に好循環をもたらす、大田区ならではの産業の発展を支援します 2-3-2　大田区の魅力を国内外にアピールします
	基本目標３ 地域力と行政の連携がつくる人と地球に優しいまち	個別目標3-1 地域力を活かし、人に優しいまちを区民主体で実現します	3-1-1　地域力を結集し、魅力的で住み続けたいまちをつくります 3-1-2　地域力を最大限発揮して、災害に強く、防犯力の高い地域をつくります
		個別目標3-2 私たち区民が、良好な環境と経済活動が両立する持続可能なまちをつくる担い手です	3-2-1　持続可能な地球環境をみんなで守り、未来へ引き継ぎます
		個別目標3-3 区は、効率的で活力ある区政を実現し、地域との連携・協働を進めます	3-3-1　質の高い区民サービスを提供する、持続可能な区役所をつくります

アンケートと新おおた重点プログラムの関係



［凡例］★・・・複数の個別目標に対応するアンケート項目（再掲しているもの）

アンケートと新おおた重点プログラムの関係

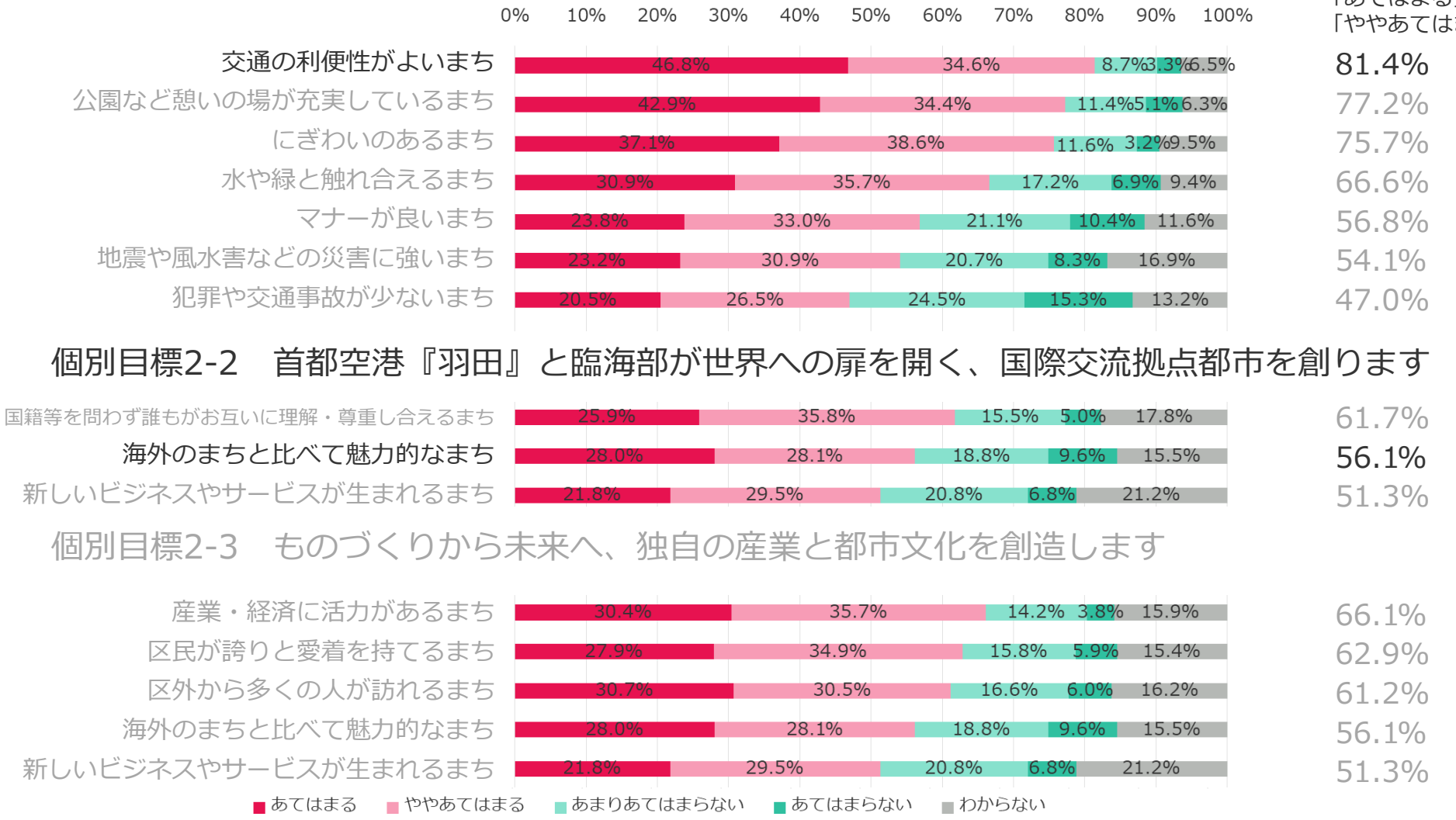


［凡例］★・・・複数の個別目標に対応するアンケート項目（再掲しているもの）

大田区基本構想　個別目標に関連するアンケート結果

基本目標２　まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市(まち)

個別目標2-1　水と緑を大切にし、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します



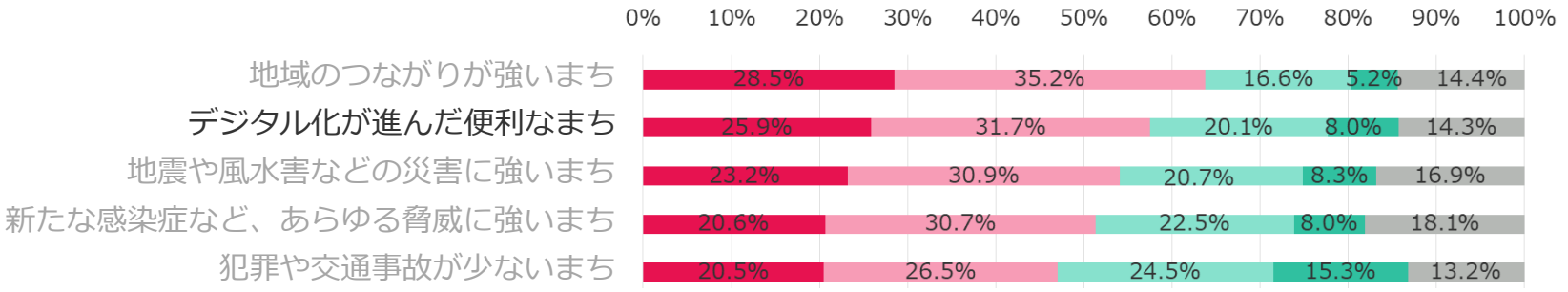
個別目標2-2　首都空港『羽田』と臨海部が世界への扉を開く、国際交流拠点都市を創ります

個別目標2-3　ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します

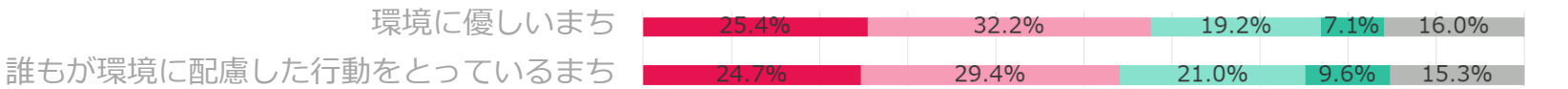
大田区基本構想　個別目標に関連するアンケート結果

基本目標３　地域力と行政の連携がつくる人と地球に優しいまち

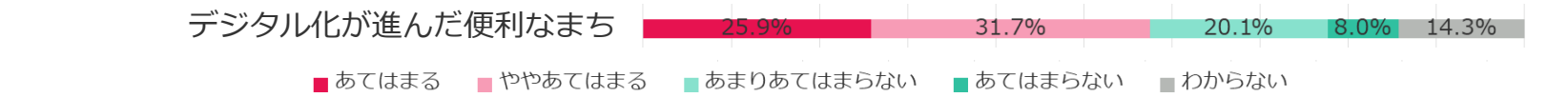
個別目標3-1　地域力を活かし、人に優しいまちを区民主体で実現します



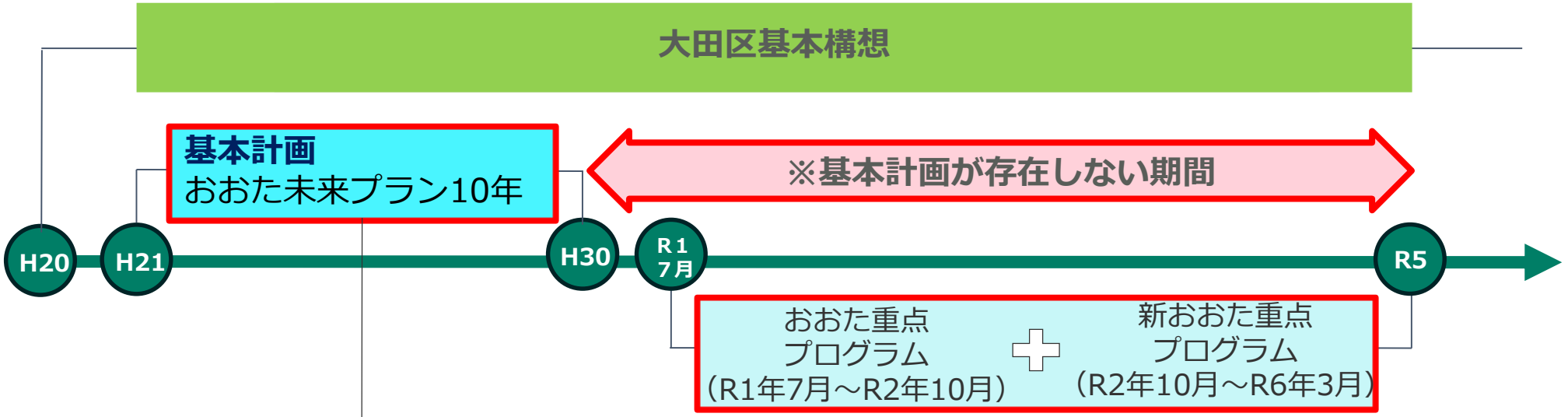
個別目標3-2　私たち区民が、良好な環境と経済活動が両立する持続可能なまちをつくる担い手です



個別目標3-3　区は、効率的で活力ある区政を実現し、地域との連携・協働を進めます



現基本構想下の計画等



・令和元年7月に大田区新基本計画策定懇談会を設置

・令和元年11月８日（金）開催の第１回大田区新基本計画策定懇談会において、おおた未来プラン10年の達成度評価を行った。

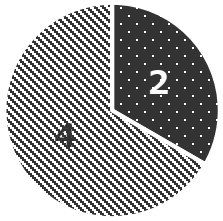
大田区基本構想　個別目標１－２

基本目標１　生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち

個別目標1-2　誰もが自分らしく、健康で生きがいをもって暮らせるまちをつくります

■ おおた未来プラン10年の施策のめざす姿の達成度報告（概要）

A・・・施策のめざす姿をおおむね達成
B・・・施策のめざす姿に相当程度進展あり

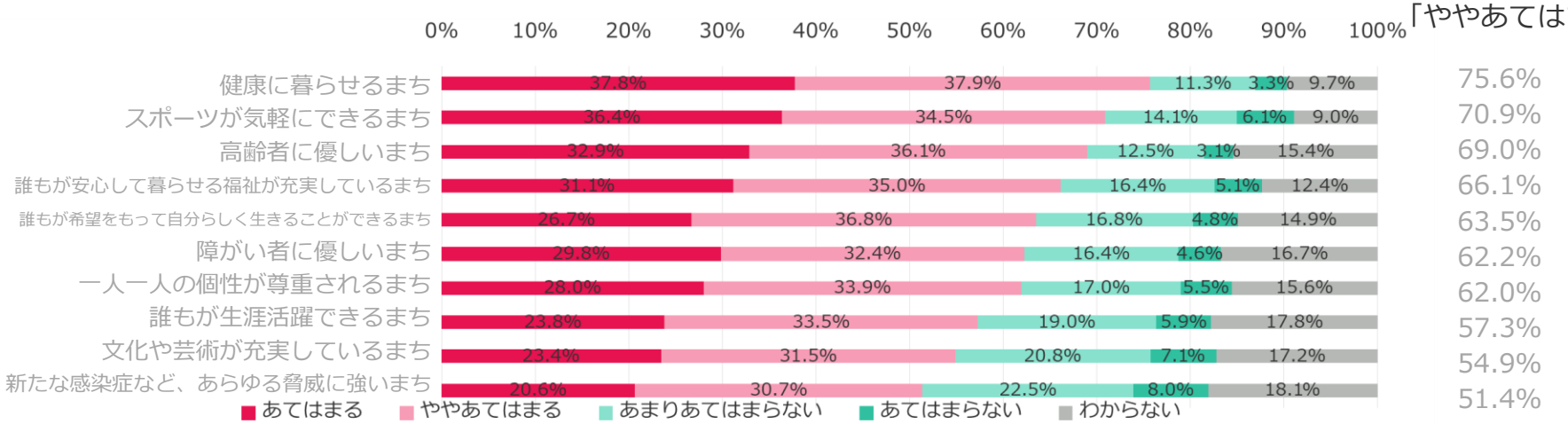


■ A（33.33%）　■ B（66.67%）

施策の評価

2-1　誰もが健康に暮らせるまちをつくります：B
2-2　ユニバーサルデザインのまちづくりを進めます：B
2-3　障がい者が地域で安心して暮らせるまちをつくります：A
2-4　生きがいと誇りをもって暮らせるまちをつくります：B
2-5　スポーツ健康都市宣言にふさわしい、スポーツを通じて健康で豊かに暮らせるまちをつくります：B
2-6　安定した暮らしと人権を守ります：A

■ 新たな基本構想の策定に向けたアンケート結果（速報）



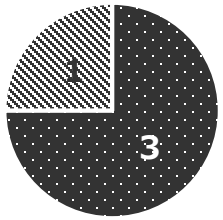
大田区基本構想　個別目標２－１

基本目標２　まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市(まち)

個別目標2-1　水と緑を大切にし、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

■ おおた未来プラン10年の施策のめざす姿の達成度報告（概要）

A・・・施策のめざす姿をおおむね達成
B・・・施策のめざす姿に相当程度進展あり

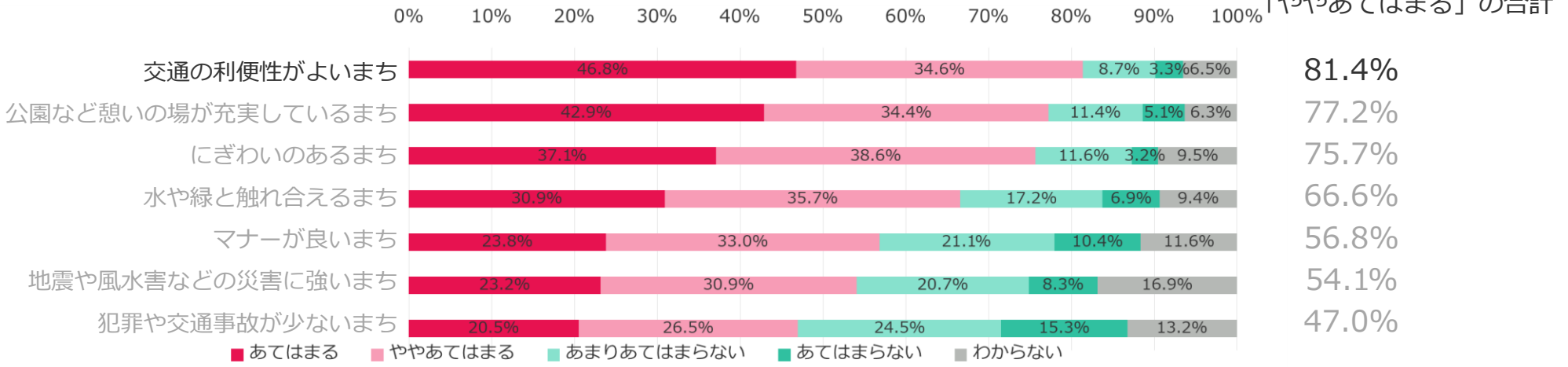


■ A（75%）　■ B（25%）

施策の評価

1-1　魅力と個性あふれる都市をつくります：A
1-2　快適な交通ネットワークをつくります：A
1-3　潤いとやすらぎのあるまちをつくります：B
1-4　安全で安心して暮らせるまちをつくります：A

■ 新たな基本構想の策定に向けたアンケート結果（速報）



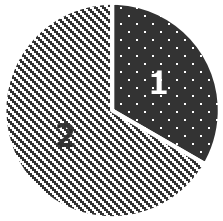
大田区基本構想　個別目標２－２

基本目標２　まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市(まち)

個別目標2-2　首都空港『羽田』と臨海部が世界への扉を開く、国際交流拠点都市を創ります

■ おおた未来プラン10年の施策のめざす姿の達成度報告（概要）

A・・・施策のめざす姿をおおむね達成
B・・・施策のめざす姿に相当程度進展あり

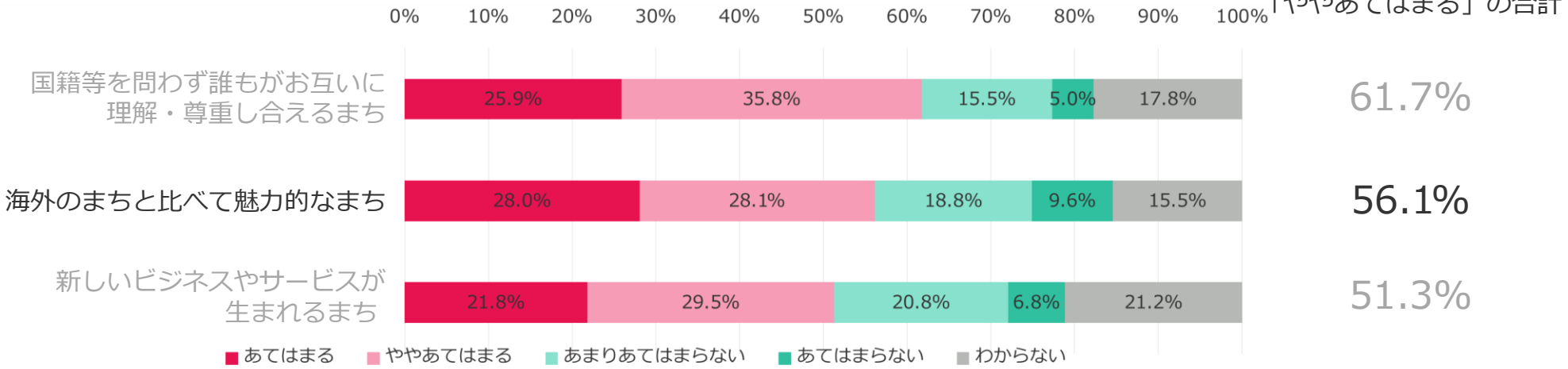


A（33.33%）　B（66.67%）

施策の評価

2-1　世界へ羽ばたくまちをつくります：A
2-2　未来につながる空港臨海部をつくります：B
2-3　国際都市として交流を育みます：B

■ 新たな基本構想の策定に向けたアンケート結果（速報）



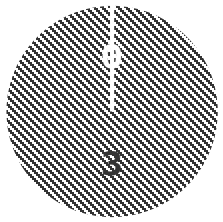
大田区基本構想　個別目標３－３

基本目標３　地域力と行政の連携がつくる人と地球に優しいまち

個別目標3-3　区は、効率的で活力ある区政を実現し、地域との連携・協働を進めます

■ おおた未来プラン10年の施策のめざす姿の達成度報告（概要）

A・・・施策のめざす姿をおおむね達成
B・・・施策のめざす姿に相当程度進展あり



A（0%）　B（100%）

施策の評価

3-1　行政力を最大限に発揮できる体制をつくります：B
3-2　透明性が高く、区民の多様な意見を活かす区役所をつくります：B
3-3　地域力を支える区役所をつくります：B

■ 新たな基本構想の策定に向けたアンケート結果（速報）

